

# 2021年度第4四半期 決算スライド補足資料

2022年2月14日

楽天グループ株式会社



# 連結業績

# FY2021 売上収益と営業利益\*1

(単位：十億円)

	FY2020	FY2021	YoY
<b>コア事業*2</b>			
売上収益	1,303.8	1,457.3	+11.8%
営業利益	128.8	165.9	+28.9%
<b>市場変動型等/投資事業*3</b>			
売上収益	129.7	135.9	+4.7%
営業利益	23.2	53.5	+130.5%
<b>将来の成長に向けた先行投資型事業*4</b>			
売上収益	189.9	256.8	+35.2%
営業利益	-257.6	-444.0	-186.4
<b>調整額</b>			
売上収益	-167.9	-168.2	-0.3
営業利益	2.9	-0.5	-3.4
<b>連結</b>			
売上収益	1,455.5	1,681.8	+15.5%
Non-GAAP 営業利益	-102.7	-225.0	-122.3
IFRS 営業利益	-93.8	-194.7	-100.9

\*1 セグメント変更に伴い、Q2/21より「コア事業」「市場変動型等/投資事業」及び「将来の成長に向けた先行投資型事業」の定義を以下の通りに変更

\*2 「市場変動型等/投資事業」及び「将来の成長に向けた先行投資型事業」を除くすべての事業

\*3 楽天証券、楽天損保及びマイノリティー投資

\*4 物流事業及びモバイルセグメントに含まれるすべての事業

# Q4/21 売上収益と営業利益\*1

(単位：十億円)

	Q4/20	Q4/21	YoY
<b>コア事業*2</b>			
売上収益	380.6	422.1	+10.9%
営業利益	39.8	44.9	+13.0%
<b>市場変動型等/投資事業*3</b>			
売上収益	31.8	34.4	+8.0%
営業利益	19.6	4.1	-79.2%
<b>将来の成長に向けた先行投資型事業*4</b>			
売上収益	49.6	73.5	+48.1%
営業利益	-84.1	-122.6	-38.5%
<b>調整額</b>			
売上収益	-46.7	-48.7	-2.0%
営業利益	1.4	-2.5	-3.9%
<b>連結</b>			
売上収益	415.3	481.2	+15.9%
Non-GAAP 営業利益	-23.3	-76.1	-52.8%
IFRS 営業利益	-33.3	-86.4	-53.0%

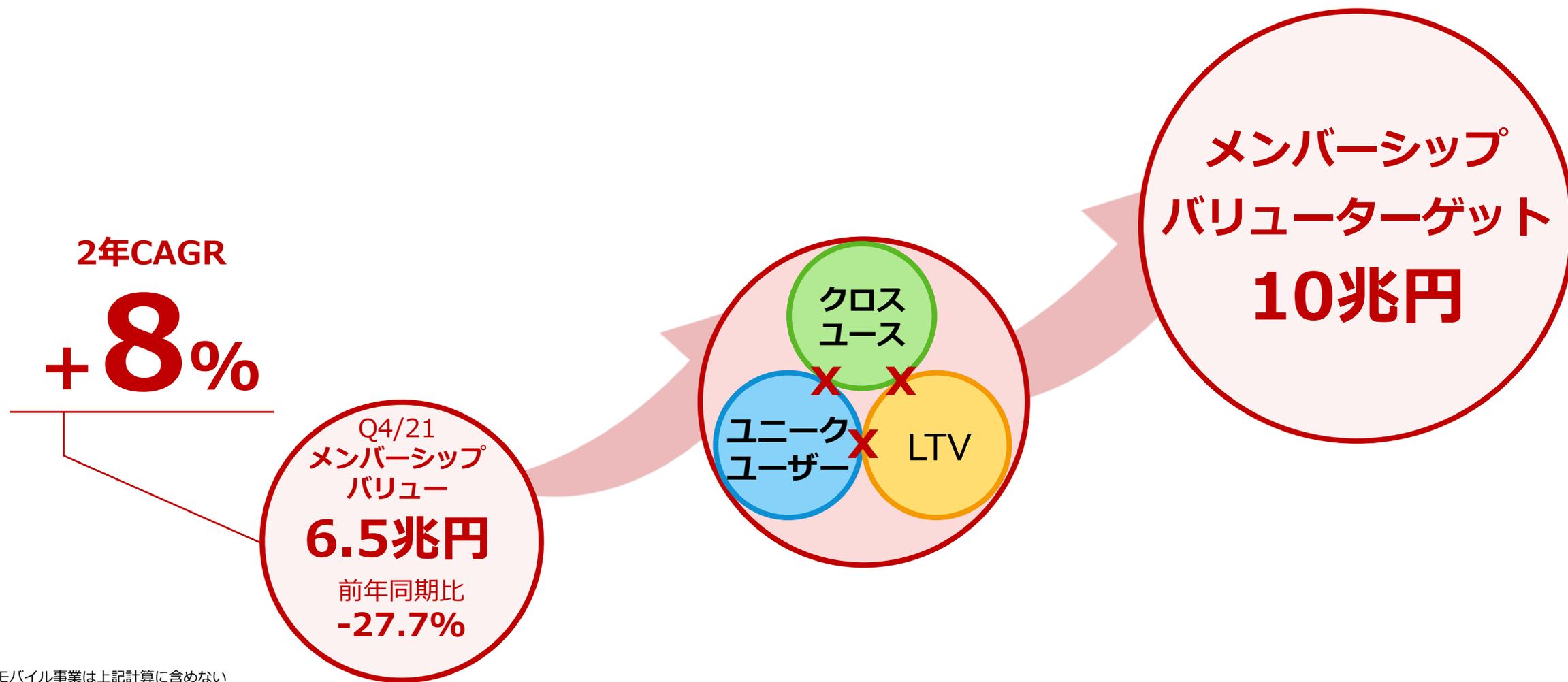
\*1 セグメント変更に伴い、Q2/21より「コア事業」「市場変動型等/投資事業」及び「将来の成長に向けた先行投資型事業」の定義を以下の通りに変更

\*2 「市場変動型等/投資事業」及び「将来の成長に向けた先行投資型事業」を除くすべての事業

\*3 楽天証券、楽天損保及びマイノリティー投資

\*4 物流事業及びモバイルセグメントに含まれるすべての事業

# 楽天エコシステムの超拡大

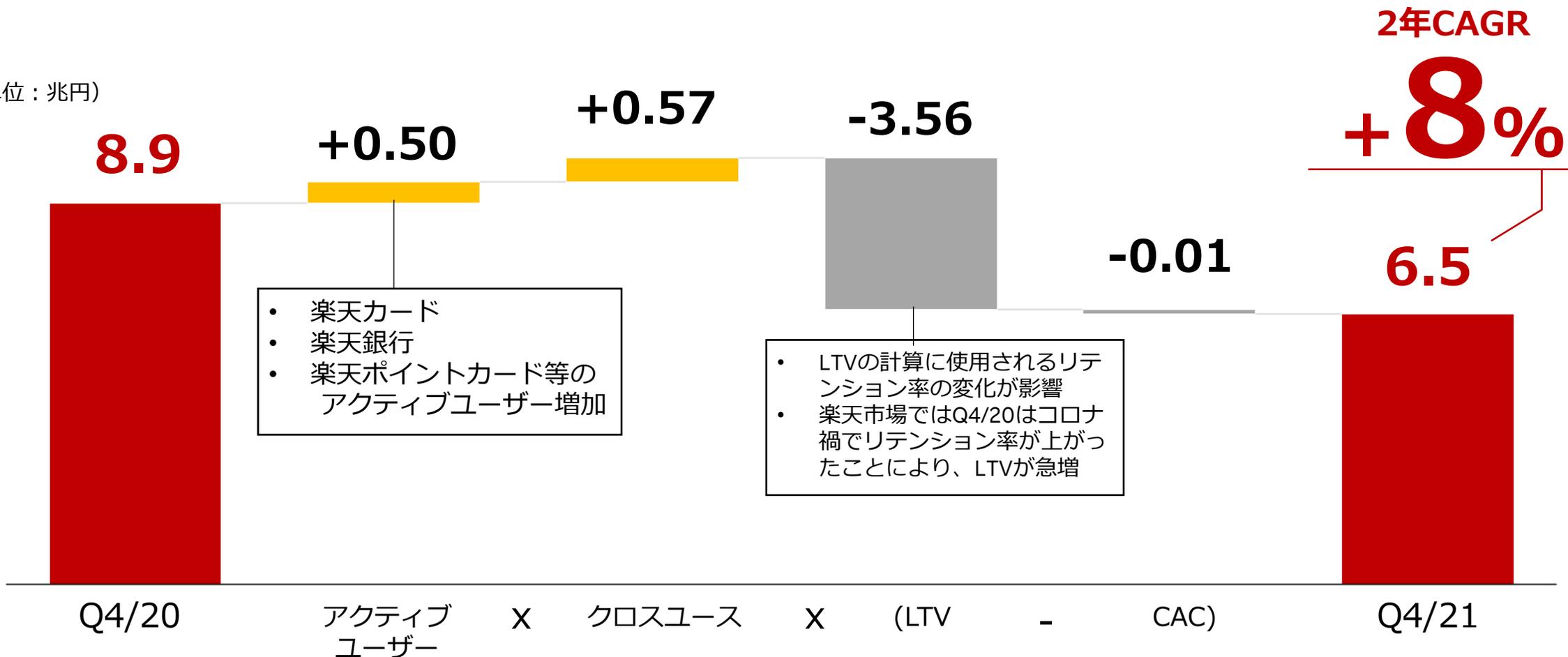


\* モバイル事業は上記計算に含めない

# 楽天エコシステムのメンバーシップバリュー

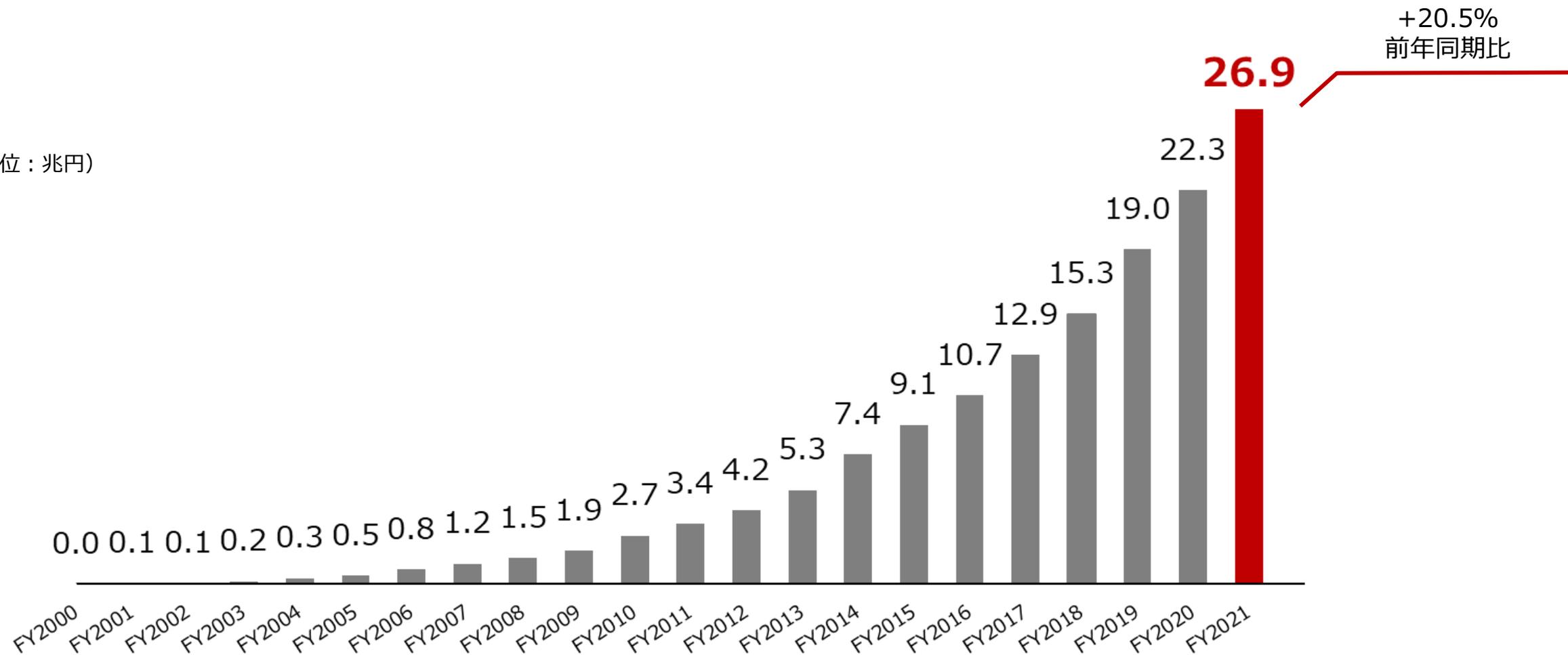
フィンテックを中心にアクティブユーザー数が増加し、楽天エコシステム内のクロスユースも堅調に推移した一方、楽天市場は昨年コロナ禍でリテンション率が上昇したことによりLTVが急増した反落でLTVが減少。メンバーシップバリューの2年CAGRは+8%と順調に拡大。

(単位：兆円)



# グローバル流通総額\*1\*2

(単位：兆円)

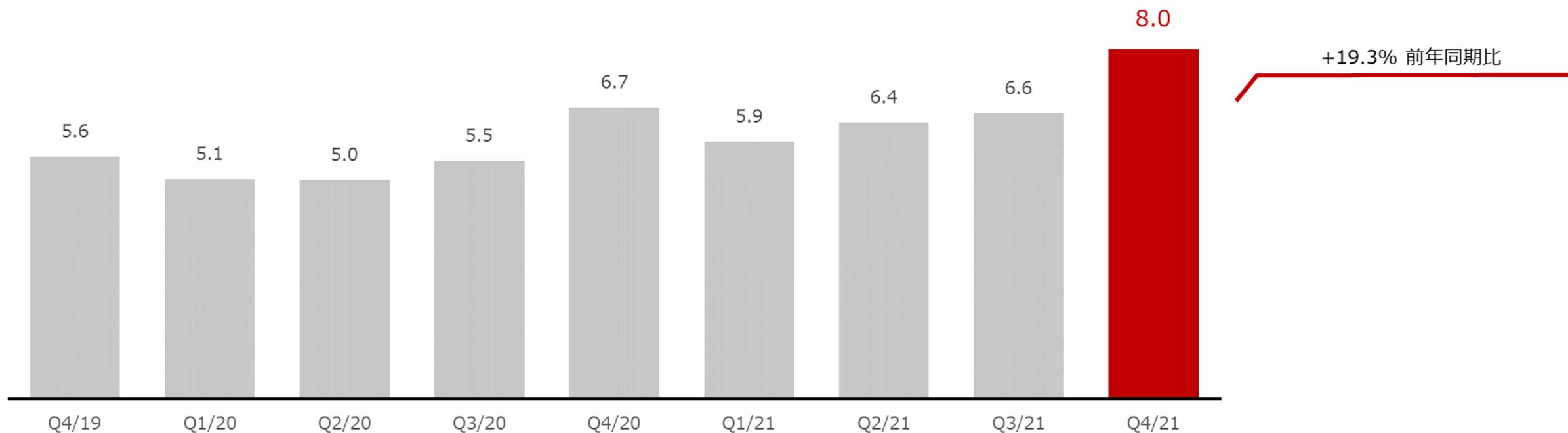


\*1 グローバル流通総額 = 国内EC流通総額 + クレジットカードショッピング取扱高 + 楽天Edy決済取扱高 + 楽天ペイ決済取扱高 + 楽天ポイントカード取扱高 + 海外EC流通総額 + Rakuten Rewards (Ebates) 流通総額 + デジタルコンテンツ取扱高 + Rakuten Advertising (Rakuten Marketing) 取扱高

\*2 決済・アフィリエイトサービスには、楽天グループ内取引を含む

# グローバル流通総額\*1\*2

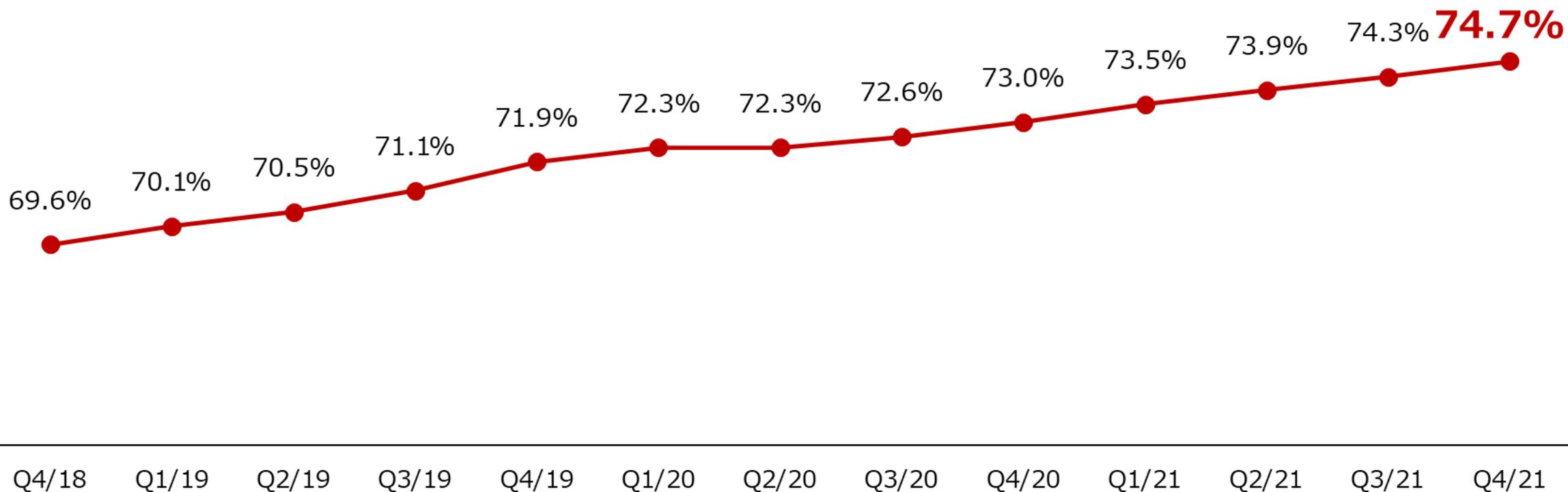
(単位：兆円)



\*1 グローバル流通総額 = 国内EC流通総額 + クレジットカードショッピング取扱高 + 楽天Edy決済取扱高 + 楽天ペイ決済取扱高 + 楽天ポイントカード取扱高 + 海外EC流通総額 + Rakuten Rewards (Ebates) 流通総額 + デジタルコンテンツ取扱高 + Rakuten Advertising (Rakuten Marketing) 取扱高

\*2 決済・アフィリエイトサービスには、楽天グループ内取引を含む

# クロスユース率\*の拡大



\* 過去12か月間における2サービス以上利用者数／過去12か月間における全サービス利用者数 (2021年9月末時点)  
(楽天ポイントが獲得可能なサービスの利用に限る)

# FY2021 連結業績サマリー

(単位：十億円)

	FY2020	FY2021	YoY
売上収益	1,455.5	1,681.8	+15.5%
Non-GAAP 営業利益	-102.7	-225.0	-122.3
Non-GAAP 営業利益 モバイルセグメント、物流事業、マイノリティー投資の損益除く	149.1	184.6	+23.8%
IFRS 営業利益	-93.8	-194.7	-100.9

# Q4/21 連結業績サマリー

(単位：十億円)

	Q4/20	Q4/21	YoY
売上収益	415.3	481.2	+15.9%
Non-GAAP 営業利益	-23.3	-76.1	-52.8
Non-GAAP 営業利益 モバイルセグメント、物流事業、マイノリティー投資の損益除く	45.5	47.5	+4.3%
IFRS 営業利益	-33.3	-86.4	-53.0

# FY2021 売上収益と営業利益

(単位：十億円)

		FY2020	FY2021	前年同期比
国内EC	売上収益	602.9	711.9	+18.1%
	営業利益	53.9	74.2	+37.7%
その他	売上収益	271.9	291.5	+7.2%
	営業利益	-13.5	33.3	+46.8
インターネットサービスセグメント				
	売上収益	874.8	1,003.4	+14.7%
	営業利益	40.4	107.5	+166.2%
フィンテックセグメント				
	売上収益	576.2	619.0	+7.4%
	営業利益	81.3	89.1	+9.6%
モバイルセグメント				
	売上収益	172.5	227.5	+31.9%
	営業利益	-227.3	-421.2	-193.9
調整額				
	売上収益	-167.9	-168.2	-0.3
	営業利益	2.9	-0.5	-3.4
連結				
	売上収益	1,455.5	1,681.8	+15.5%
	Non-GAAP 営業利益	-102.7	-225.0	-122.3
	IFRS 営業利益	-93.8	-194.7	-100.9

\* Q4/20に、コンテンツ関連事業をインターネットサービスセグメントからモバイルセグメントに移管。更に、Q2/21より、北米地域でデジタルコンテンツサイト等の運営を行う一部の事業及びViber等、一部の事業をモバイルセグメントからインターネットサービスセグメントに移管。また、Q4/21より、ブックネットワーク、クロスボーダートレーディング、Kobo（国内）、楽天マガジンをその他セグメントから国内ECに移管。これに伴い、遡及修正を実施。

# Q4/21 売上収益と営業利益

(単位：十億円)

	Q4/20	Q4/21	前年同期比
<b>国内EC</b>			
売上収益	183.3	206.6	+12.7%
営業利益	19.3	24.9	+28.6%
<b>その他</b>			
売上収益	84.1	94.6	+12.4%
営業利益	14.6	-0.7	-15.4
<b>インターネットサービスセグメント</b>			
売上収益	267.4	301.1	+12.6%
営業利益	34.0	24.1	-28.9%
<b>フィンテックセグメント</b>			
売上収益	150.5	163.5	+8.6%
営業利益	17.9	20.9	+16.7%
<b>モバイルセグメント</b>			
売上収益	44.2	65.3	+47.8%
営業利益	-76.6	-118.7	-42.1
<b>調整額</b>			
売上収益	-46.7	-48.7	-2.0
営業利益	1.4	-2.5	-3.9
<b>連結</b>			
売上収益	415.3	481.2	+15.9%
Non-GAAP 営業利益	-23.3	-76.1	-52.8
IFRS 営業利益	-33.3	-86.4	-53.0

\* Q4/20に、コンテンツ関連事業をインターネットサービスセグメントからモバイルセグメントに移管。更に、Q2/21より、北米地域でデジタルコンテンツサイト等の運営を行う一部の事業及びViber等、一部の事業をモバイルセグメントからインターネットサービスセグメントに移管。また、Q4/21より、ブックネットワーク、クロスボーダートレーディング、Kobo（国内）、楽天マガジンをその他セグメントから国内ECに移管。これに伴い、遡及修正を実施。

# FY2021 Non-GAAP営業利益調整額

(単位：十億円)

	FY2020	FY2021	前年同期比
Non-GAAP営業利益	-102.7	-225.0	-122.3
無形資産償却費 (PPA)	-9.5	-9.3	+0.2
株式報酬費用	-10.6	-10.1	+0.6
非経常的な項目	28.9	49.7	+71.6%
IFRS営業利益	-93.8	-194.7	-100.9

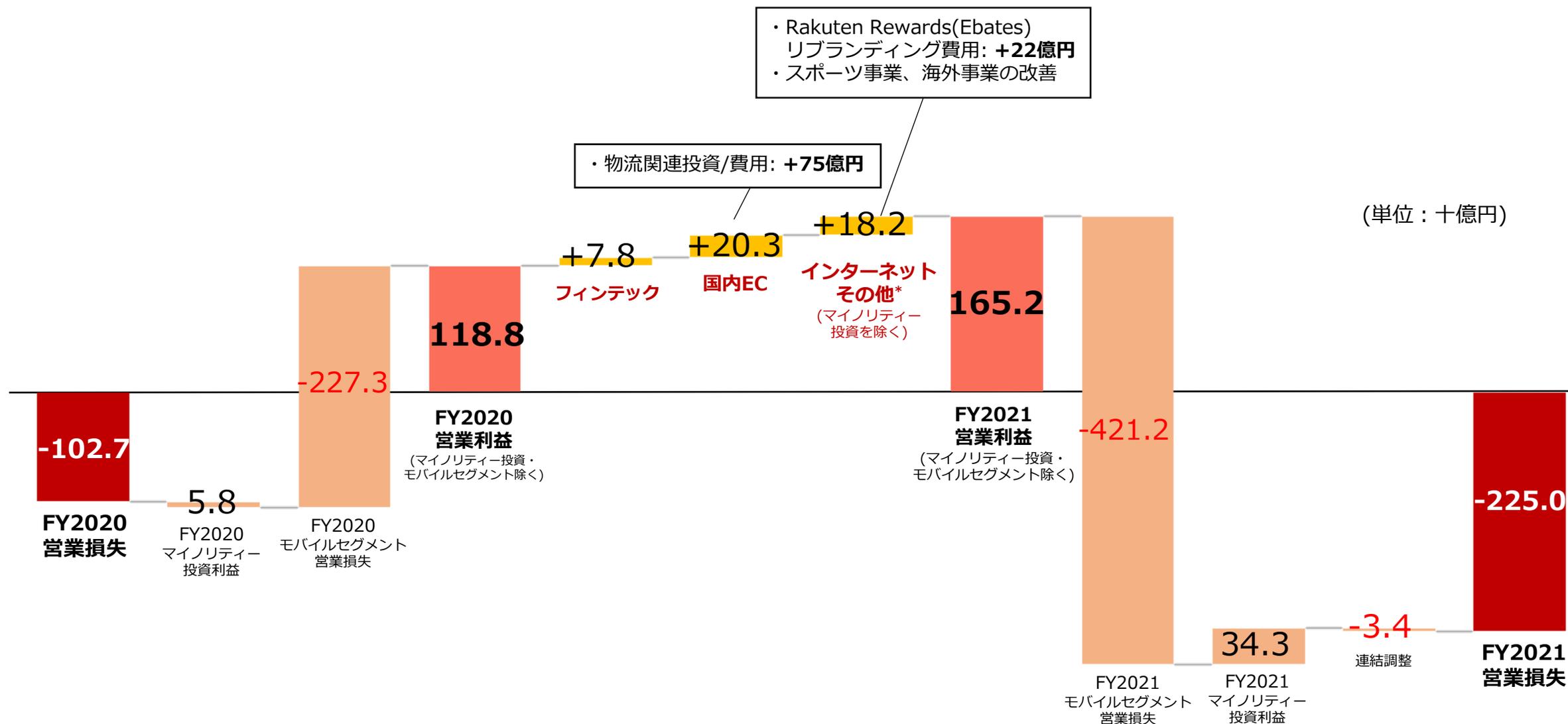
\* 前連結会計年度に計上された非経常的な項目には、OverDrive Holdings, Inc.の全株式を譲渡したことに伴い発生した売却益40,926百万円及び一部の米国事業の閉鎖に伴う固定資産の減損等が含まれています。また、当連結会計年度に計上された非経常的な項目には、Altiostar Networks, Inc.の完全子会社化に伴う段階取得に係る差益59,496百万円及び楽天ポイントの規約等の見直しによるポイント引当金の増加に伴う費用8,789百万円等が含まれています。

# Q4/21 Non-GAAP營業利益調整額

(單位：十億円)

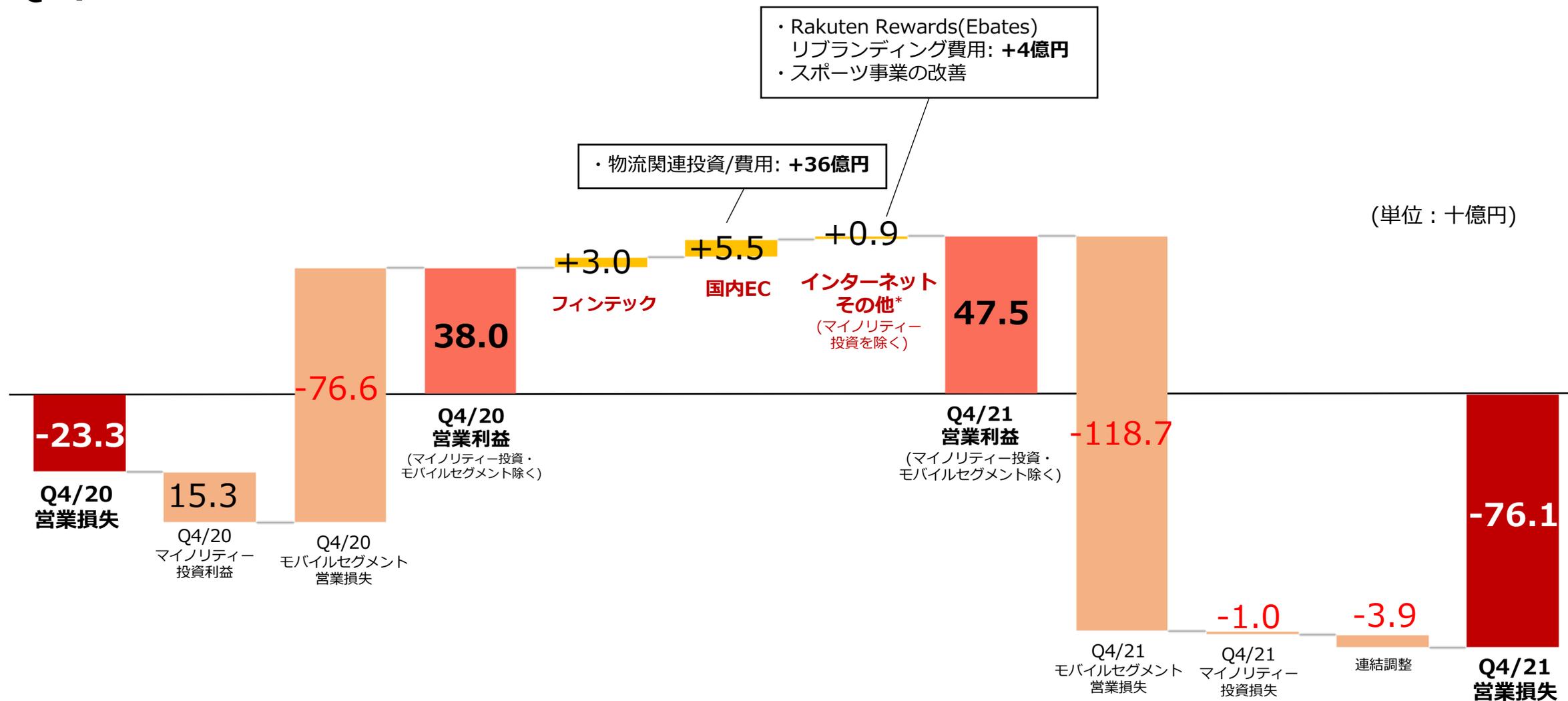
	Q4/20	Q4/21	前年同期比
Non-GAAP營業利益	-23.3	-76.1	-52.8
無形資産償却費 (PPA)	-1.6	-3.7	-2.1
株式報酬費用	-2.6	-2.3	+0.2
非經常的な項目	-5.9	-4.2	+1.7
IFRS營業利益	-33.3	-86.4	-53.0

# FY2021 Non-GAAP 営業利益詳細



\* 「インターネットその他」は主に海外EC事業、スポーツ関連事業を含む

# Q4/21 Non-GAAP 営業利益詳細



\* 「インターネットその他」は主に海外EC事業、スポーツ関連事業を含む

# 連結・主要子会社のバランスシート概要①(2021年12月末) \*単体BSは内部取引を含む

(単位：十億円)

現金預金 4,410.3	借入金 3,177.4
証券業の 金融資産 3,088.5	証券業の 金融負債 3,033.0
銀行業の 有価証券 ・貸付金 2,987.9	銀行業 の預金 6,848.4
カード事業 の貸付金 2,388.4	
その他 の資産 3,956.0	その他 の負債 2,429.7
	資本 1,117.3
総資産 16,831.2	劣後債 225.6

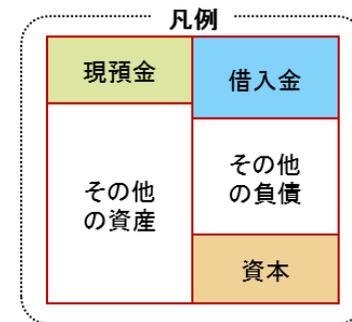
**連結**

現金預金 304.4	借入金 906.8
その他の 資産 2,868.7	その他の 負債 948.4
	劣後債 225.6
総資産 3,173.1	資本 1,092.3

**楽天グループ(株)**

有形固定資産 763.6	借入金 681.1	リース債務 237.1
無形資産 138.5	その他の負債 373.0	資本 109.4
その他の資産 498.4		
総資産 1,400.5		

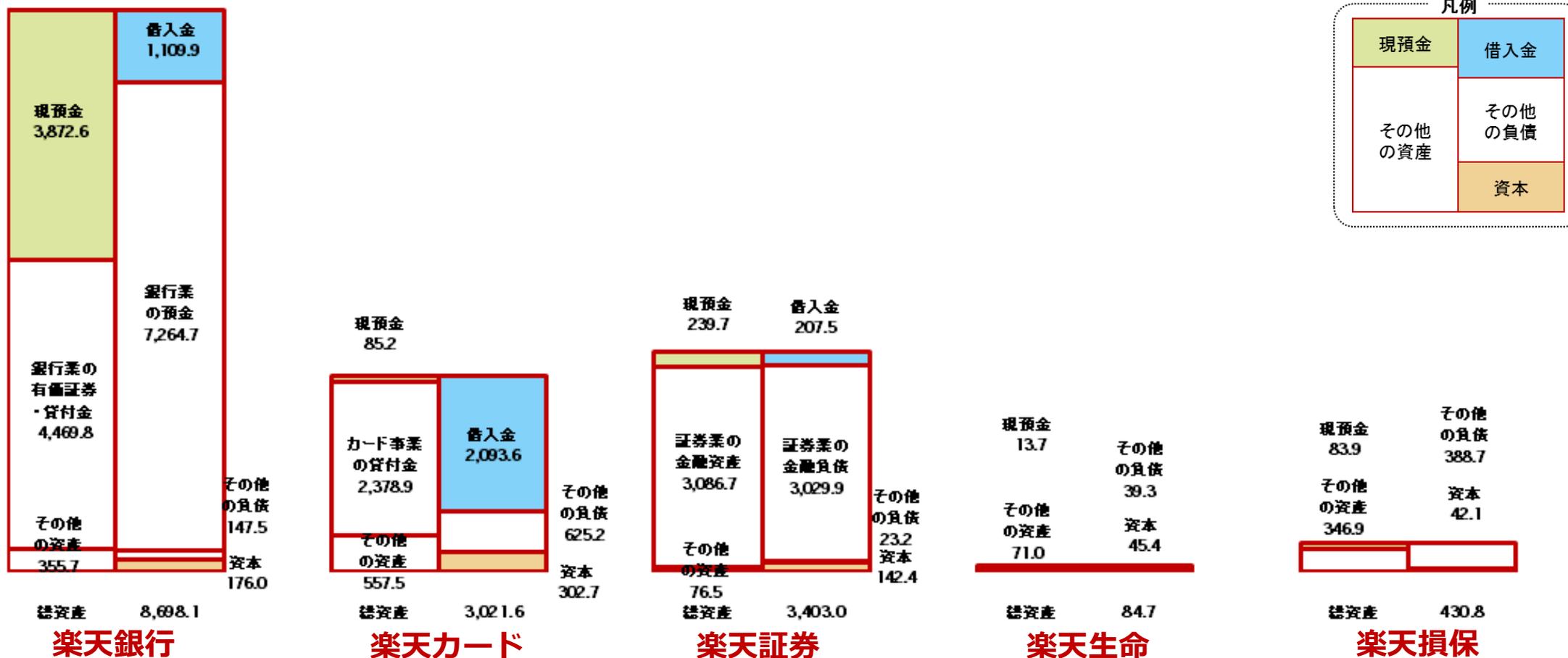
**楽天モバイル**



\* 楽天グループ(株)、楽天銀行、楽天カード、楽天証券、楽天生命、楽天損保、楽天モバイルはIFRSに準拠した単独決算の数値  
 \* 借入金 = 普通社債 + CP + 銀行借入金等  
 \* 単体BSは内部取引を含む

# 連結・主要子会社のバランスシート概要②(2021年12月末) \*単体BSは内部取引を含む

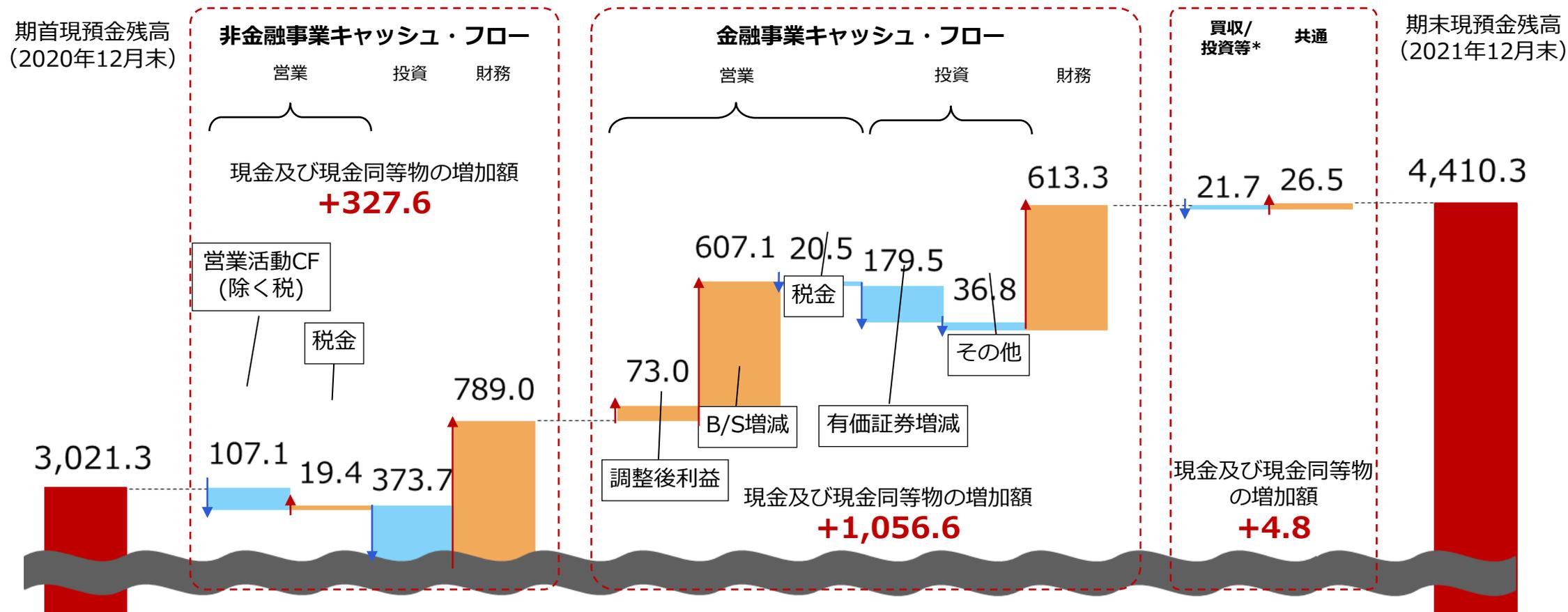
(単位：十億円)



\* 楽天グループ(株)、楽天銀行、楽天カード、楽天証券、楽天生命、楽天損保、楽天モバイルはIFRSに準拠した単独決算の数値  
 \* 借入金 = 普通社債 + CP + 銀行借入金等  
 \* 単体BSは内部取引を含む

# キャッシュ・フローの状況 (2021年1月 - 12月)

(単位：十億円)

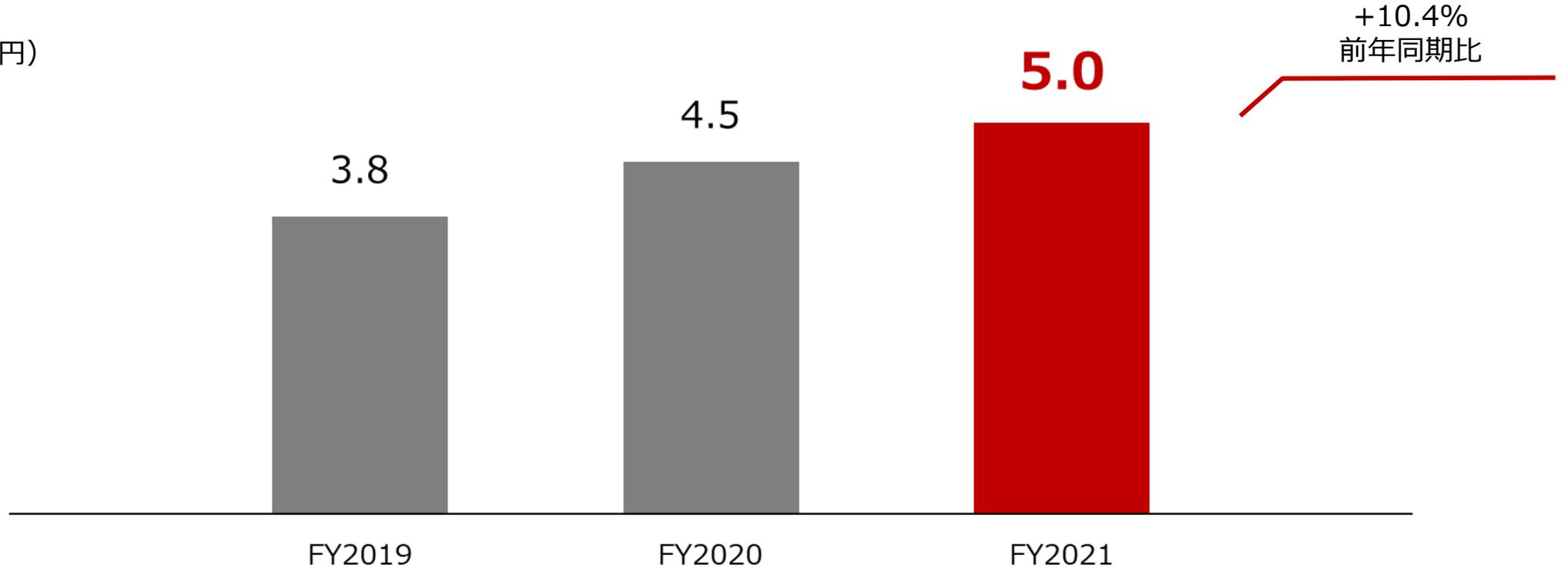


\* 買収/投資等には、「子会社の取得による支出」及び「持分法投資の取得による支出」の他、非金融における「有価証券の取得による支出」及び「有価証券の売却及び償還による収入」が含まれます。

# インターネットサービスセグメント

# 国内EC 流通総額\*1\*2

(単位：兆円)

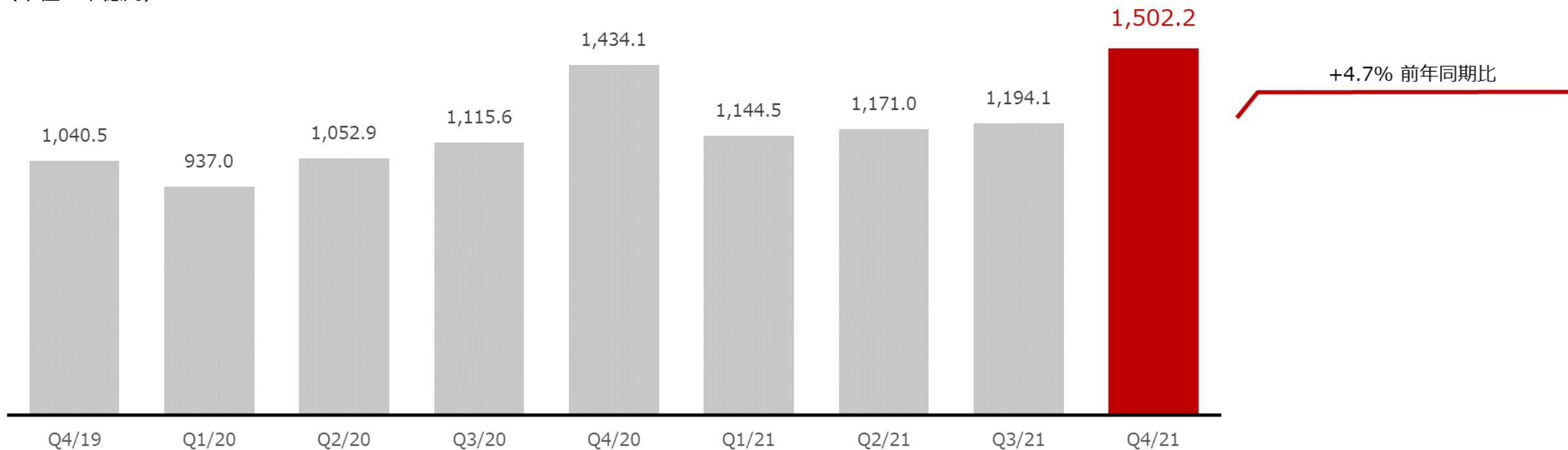


\*1 国内EC流通総額（一部の非課税ビジネスを除き、消費税込み）＝市場、トラベル（宿泊流通）、ブックス、ブックスネットワーク、Kobo（国内）、ゴルフ、ファッション、ドリームビジネス、ビューティ、デリバリー、Rakuten24 などの日用品直販、オートビジネス、ラクマ、Rebates、楽天西友ネットスーパー、クロスボーダートレーディング等の流通額の合計

\*2 Q4/21より、国内EC流通総額にブックスネットワーク、クロスボーダートレーディング、Kobo（国内）を追加。これに伴い、遡及修正を実施。

# 国内EC 流通総額\*1\*2

(単位：十億円)



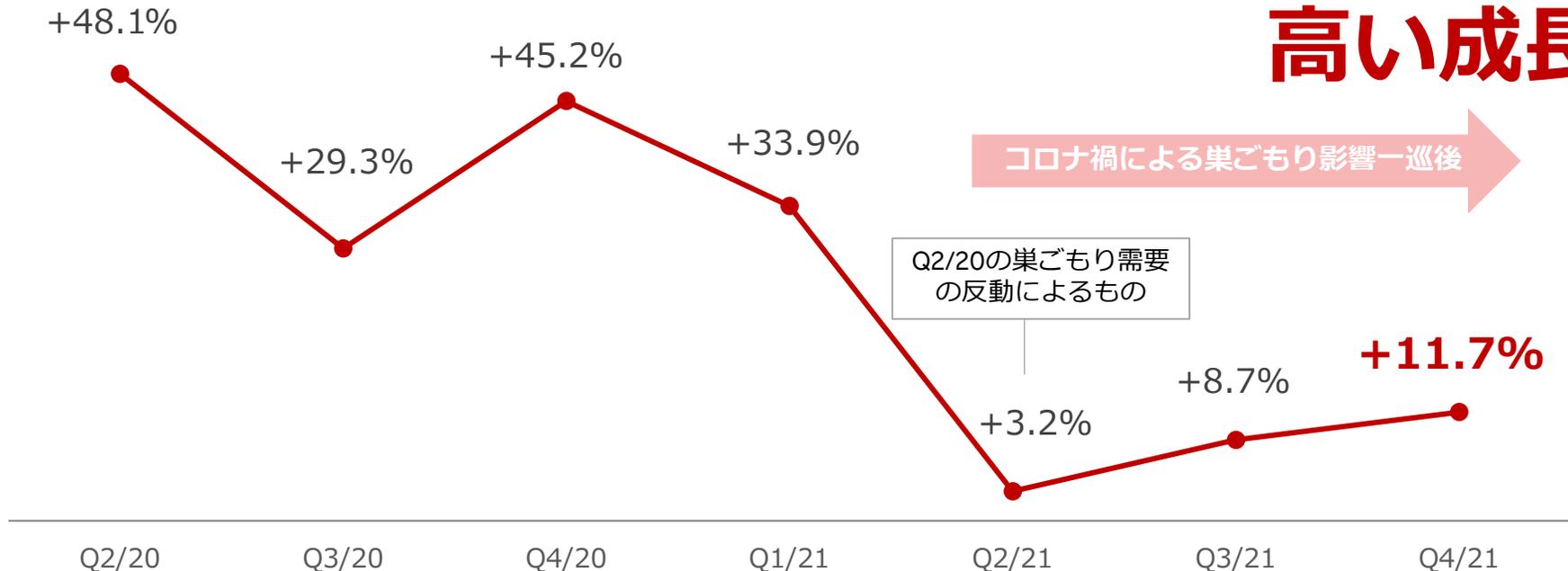
\*1 国内EC流通総額（一部の非課税ビジネスを除き、消費税込み）＝市場、トラベル（宿泊流通）、ブックス、ブックネットワーク、Kobo（国内）、ゴルフ、ファッション、ドリームビジネス、ビューティ、デリバリー、Rakuten24 などの日用品直販、オートビジネス、ラクマ、Rebates、楽天西友ネットスーパー、クロスボーダートレーディング、等の流通額の合計

\*2 Q4/21より、国内EC流通総額にブックネットワーク、クロスボーダートレーディング、Kobo（国内）を追加。これに伴い、遡及修正を実施。

# ショッピングEC 流通総額\*

前年における高い成長率にもかかわらず、Q4/21のショッピングEC流通総額は+11.7%と順調に拡大。着実にユーザーの定着が進み、ユーザーあたりの購入頻度、購入額が共に上昇。

**巣ごもり需要一巡後も  
高い成長率を維持**



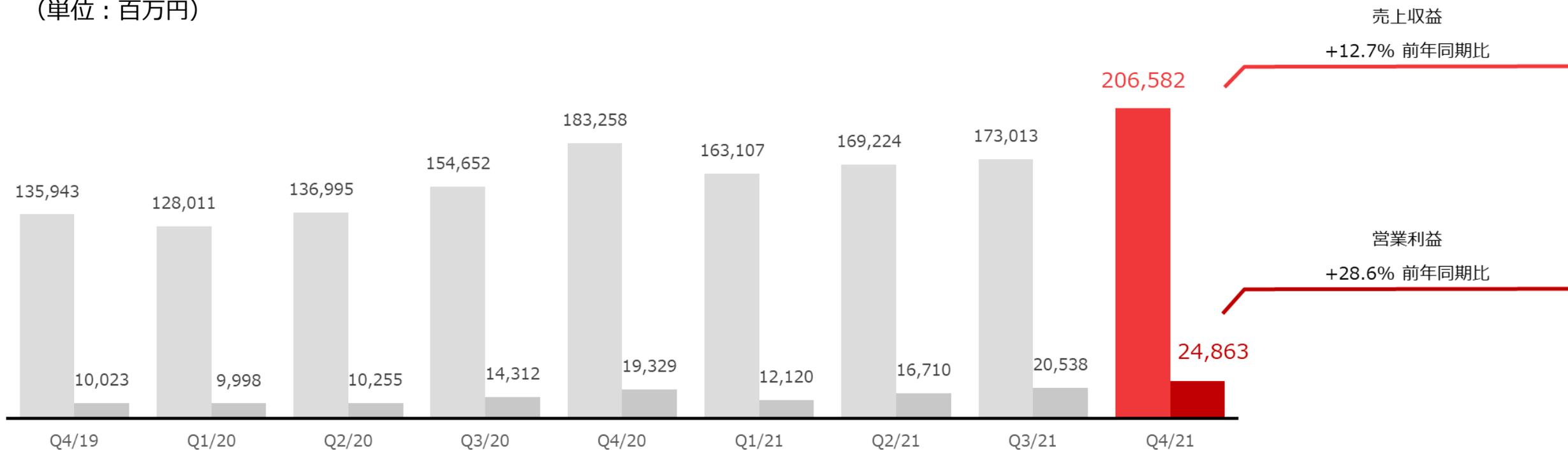
Q4/21 2年CAGR  
**+27.4%**

\* ショッピングEコマース=楽天市場 + 1st パーティ (ファッション, ブックス, Rakuten24 などの日用品直販, ネットスーパー) + オープンEC (Rebates, 楽天ペイ オンライン決済) + ラクマ

# 国内EC 四半期業績推移\*1\*2

前年のGotoトラベルキャンペーンの反動を受けながらも、楽天市場を中心としたEC事業の継続的な成長により、売上収益、営業利益ともに、順調に拡大

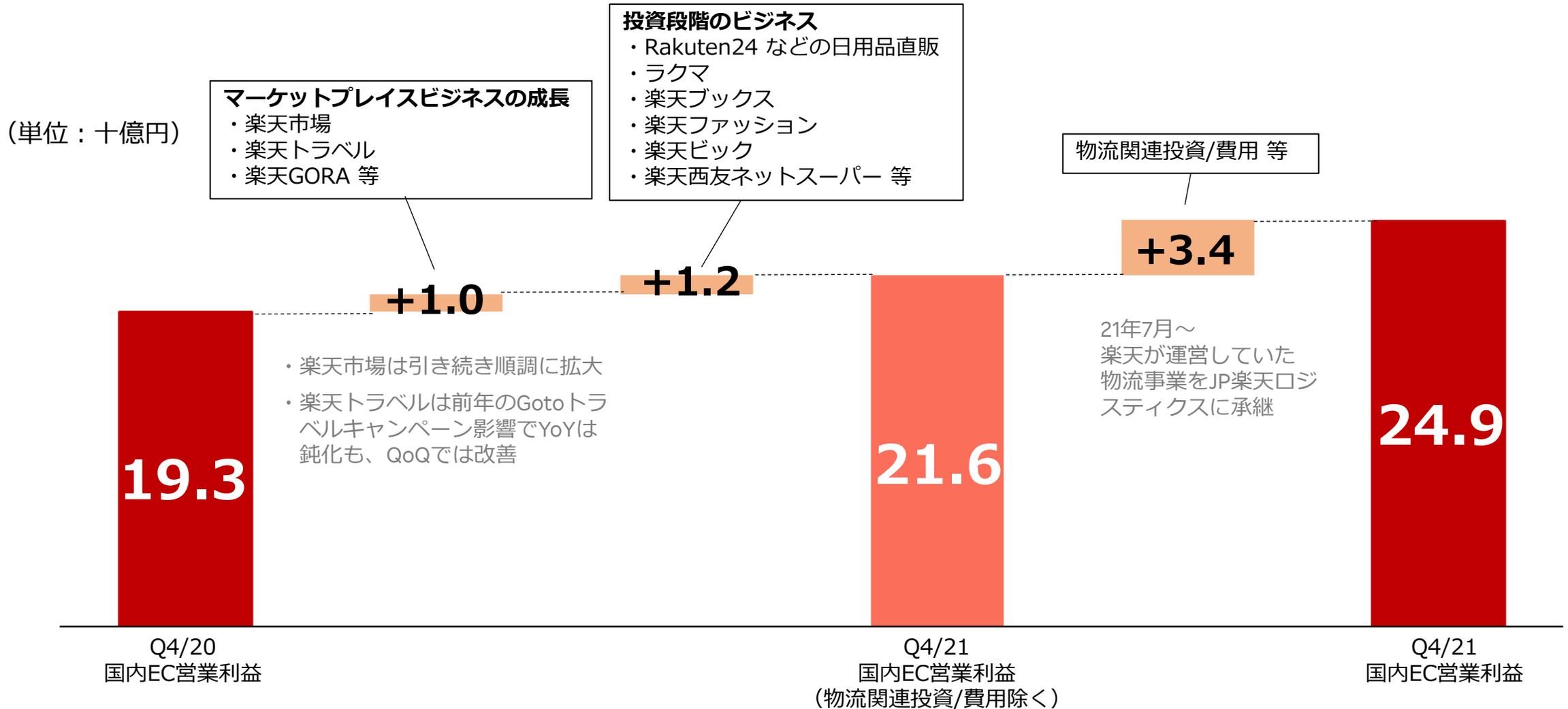
(単位：百万円)



\*1 国内EC=市場、トラベル、ブックス、ゴルフ、ファッション、ドリームビジネス、ビューティ、Rakuten24 などの日用品直販、物流、オートビジネス、ラクマ、Rebates等

\*2 Q4/21より、ブックスネットワーク、クロスボーダートレーディング、Kobo (国内)、楽天マガジンを其他セグメントから国内ECセグメントに移管。これに伴い、遡及修正を実施。

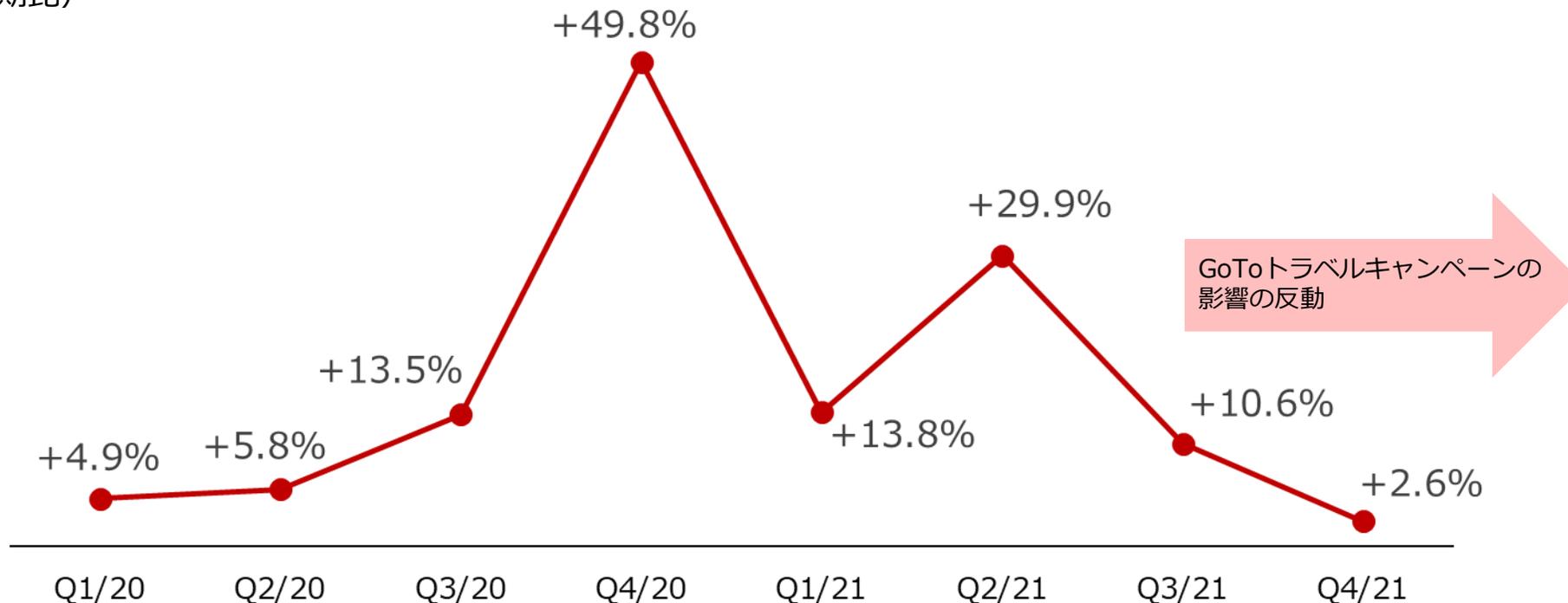
# 国内EC 営業利益詳細\*



\* Q4/21より、ブックスネットワーク、クロスボーダートレーディング、Kobo（国内）、楽天マガジンをその他セグメントから国内ECセグメントに移管。これに伴い、遡及修正を実施。

# 国内EC マーケットプレイスビジネス\* 営業利益 前年同期比推移

(前年同期比)



\*マーケットプレイスビジネス=市場、トラベル、ゴルフ、ドリームビジネス等

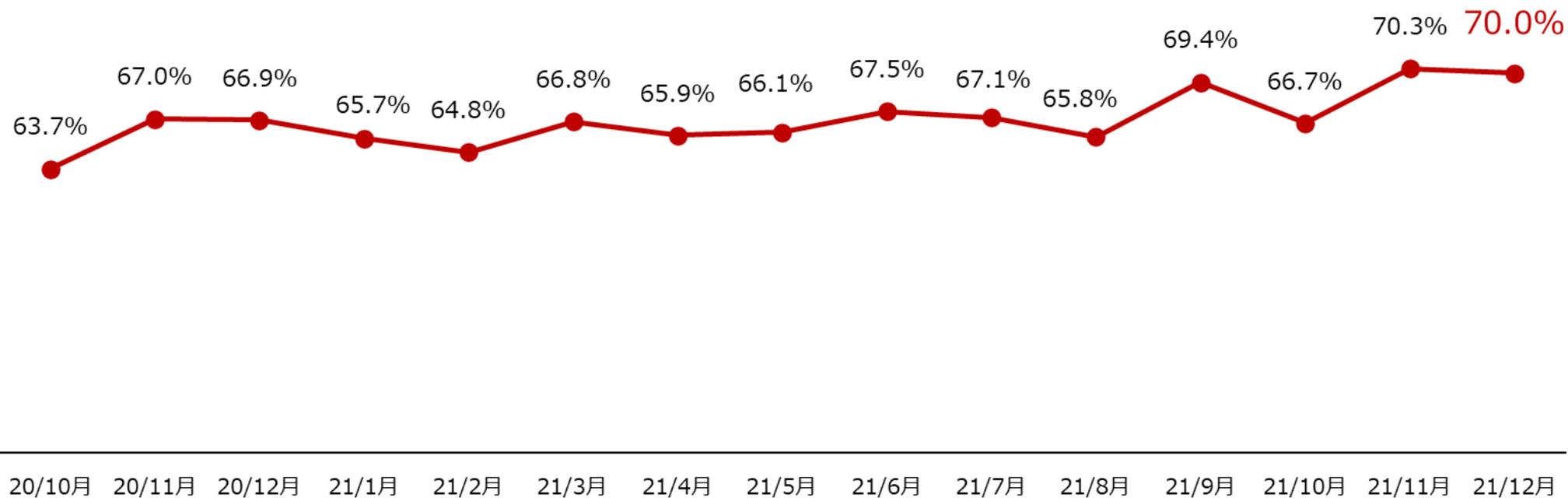
## Q4/21 楽天市場モバイル流通総額比率\*

**79.1%**

**+2.6ポイント 前年同期比**

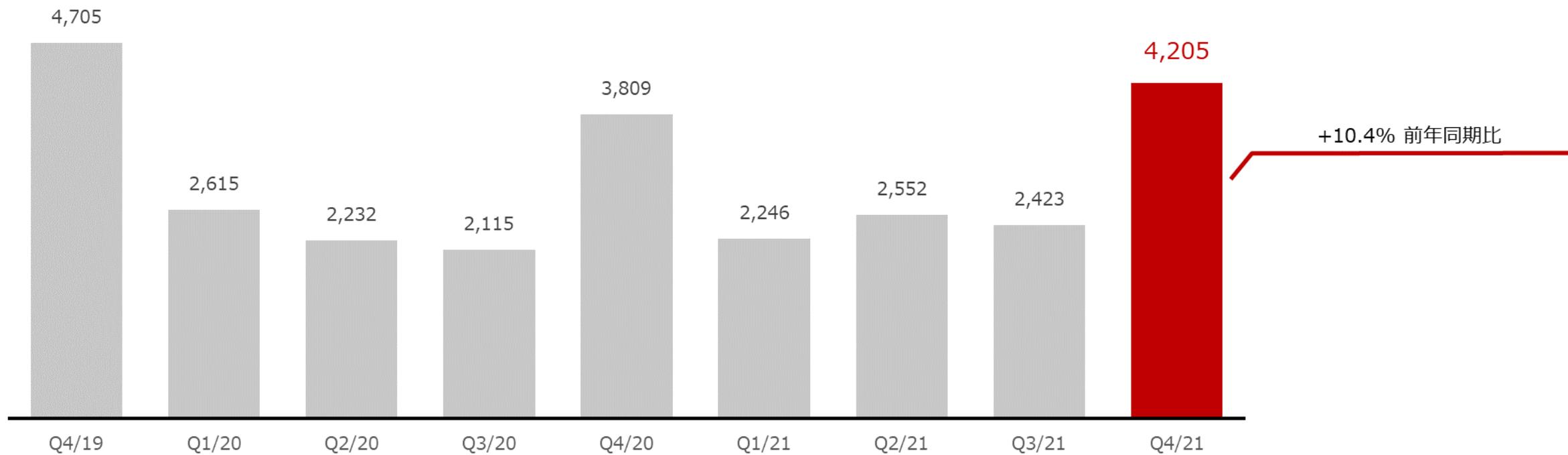
\*モバイル流通総額比率 = 楽天市場モバイル流通総額 / 楽天市場流通総額合計 (スマートフォン、タブレットを含む)

# 楽天市場流通総額における楽天カード決済比率



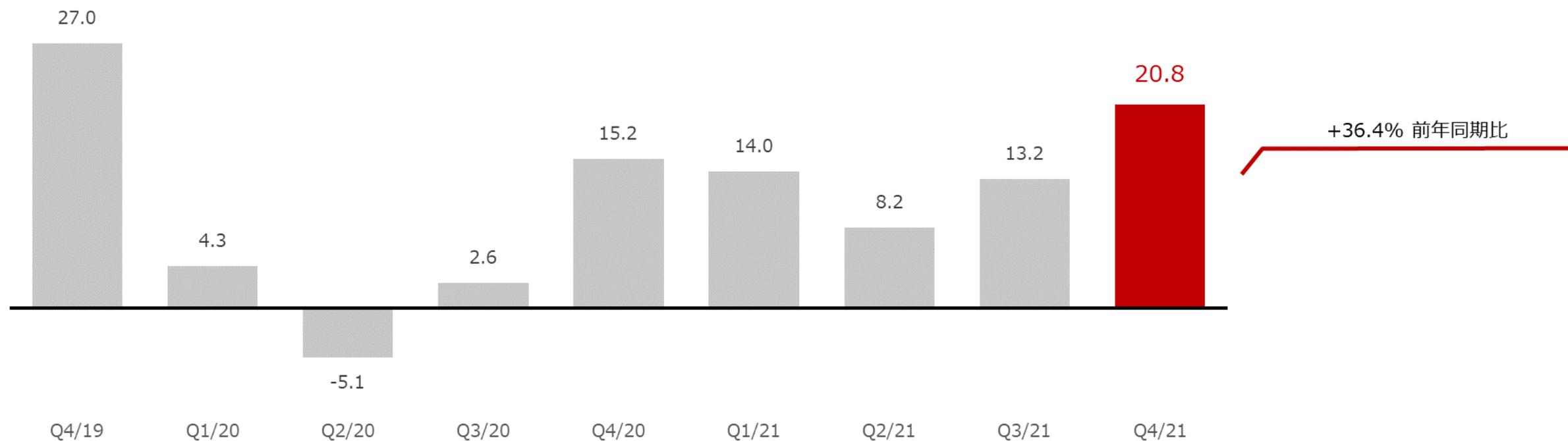
# Rakuten Rewards (Ebates) 流通総額

(単位：百万米ドル)



# Rakuten Rewards (Ebates) 営業利益推移\*1\*2

(単位：百万米ドル)

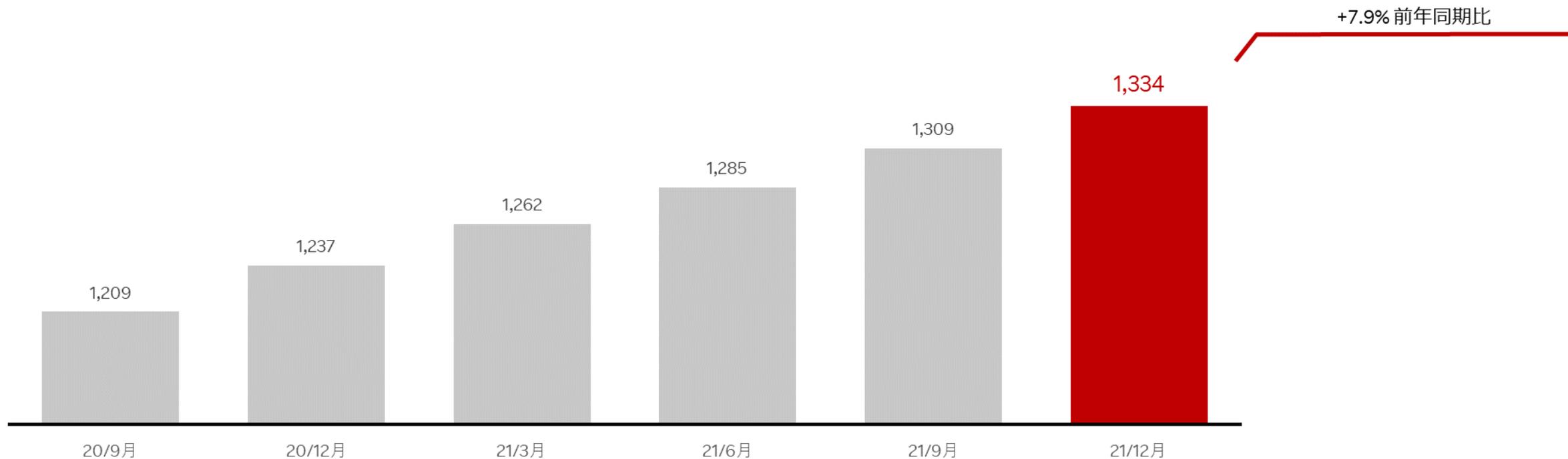


\*1 リブランディング費用20.4百万米ドル(Q3/19)、27.4百万米ドル(Q4/19)、5.2百万米ドル(Q1/20)、5.1百万米ドル(Q2/20)、6.3百万米ドル(Q3/20)及び2.5百万米ドル(Q4/20)を除く

\*2 社内における配賦費用の付け替え等に伴い営業利益を変更しており、過去の営業利益も遡及修正済み

# Viber ユニークID数<sup>\*1\*2</sup>

(単位：百万ID)

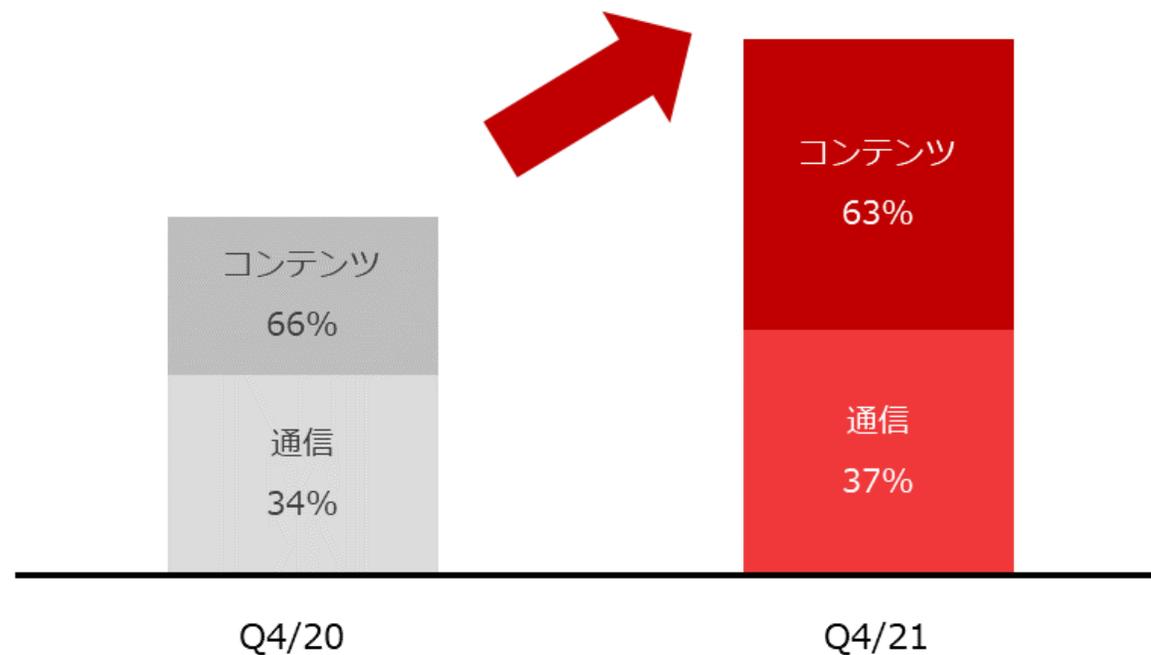


\*1 ユニーク携帯番号登録者数（解約者を除く）

\*2 Q2/21に、Viber事業をモバイルセグメントからインターネットサービスセグメントに移管

# Viber 売上収益<sup>\*1\*2</sup>

売上収益  
+17.0% 前年同期比

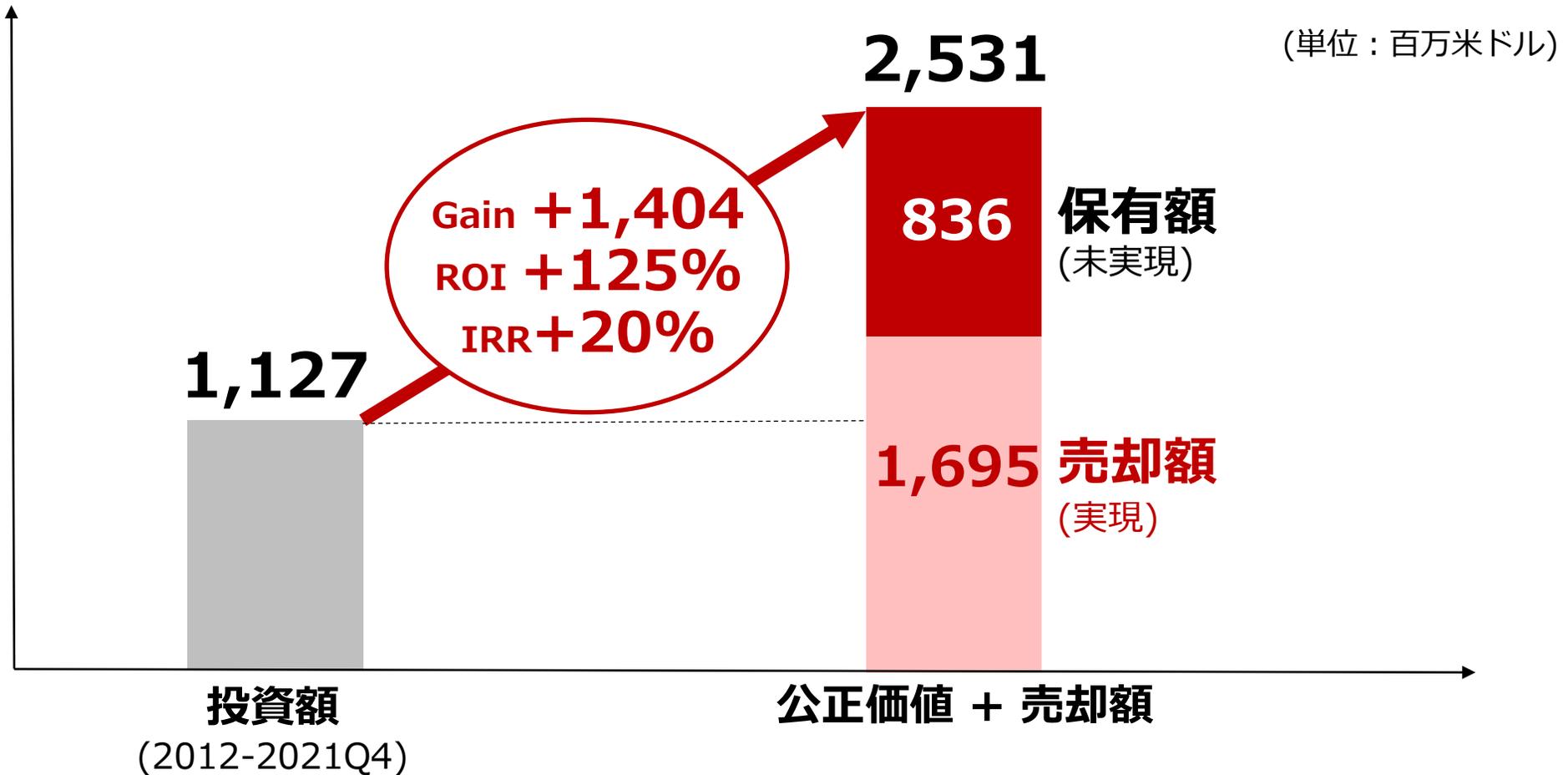


<sup>\*1</sup> 通信: Viber Out, Viber In, SMS / コンテンツ: サービスメッセージ、広告、ステッカー等

<sup>\*2</sup> Q2/21に、Viber事業をモバイルセグメントからインターネットサービスセグメントに移管

# Rakuten Capital\*1 投資パフォーマンス

楽天キャピタル 投資パフォーマンス (2021年12月末時点)\*2



\*1 楽天グループ 投資事業 (楽天キャピタル)

\*2 Lyft・楽天メディカル等、楽天キャピタル以外のマイノリティー投資を除く

# マイノリティー投資ポートフォリオ

保有

売却済\*1

楽天キャピタル以外\*2

投資件数\*3 :

37

33

2

インターネット



SHOPBACK



≡ VERISHOP

dataX

ライドシェアリング



cabify



フィンテック

TORANOTEC

サステナビリティ



ヘルスケア

airweave



overture

Genesis Healthcare

モバイル / AI



Careem  
(一部)

» VISIONAL



Rakuten Medical  
(関連会社)

\*1 2015年以降売却分、件数は一部売却を除く

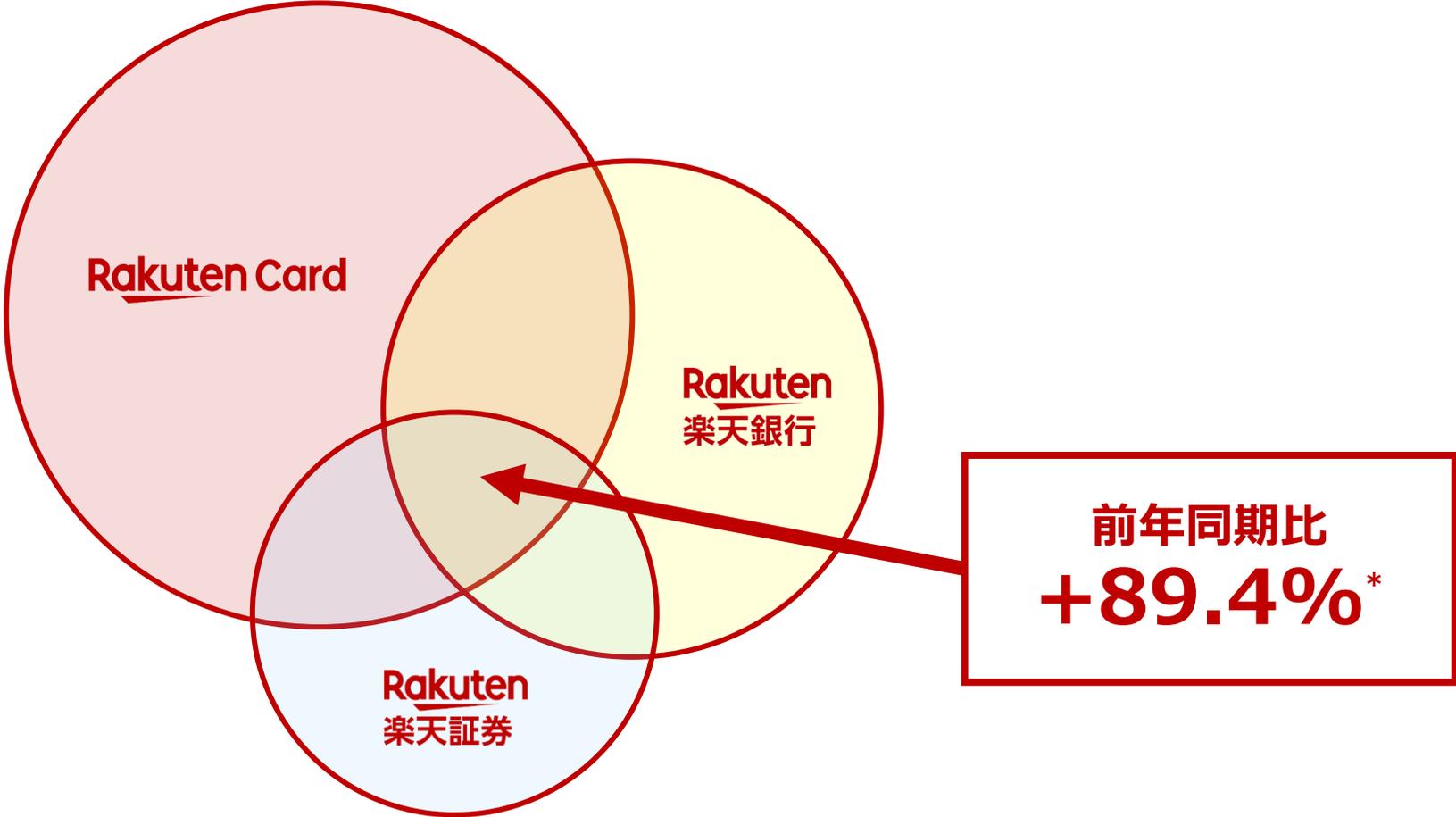
\*2 Lyftと楽天メディカルは、楽天キャピタルから他ビジネスへ移管

\*3 投資件数はQ4/21時点の楽天キャピタルの投資に限定

# フィンテックセグメント

# フィンテック事業間のクロスユース事例

(ユニークユーザー数)



\* 2021年12月時点  
\* Q3/20よりクロスユースの集計方法を変更

# FY2021 フィンテックセグメント業績サマリー

(単位：十億円)

	売上収益	前年同期比	営業利益	前年同期比
楽天カード	279.9	+7.1%	39.7	+5.2%
楽天銀行	102.6	+7.4%	29.6	+5.5%
楽天証券	90.0	+21.4%	18.1	+9.1%
保険事業	100.9	-5.1%	9.1	+20.6%
楽天ペイメント	39.6	+19.8%	-4.1	+26億円
その他	6.0	+2.8%	-3.2	-14億円
フィンテック 合計	619.0	+7.4%	89.1	+9.6%

\* 保険事業は生命保険、損害保険、ペット保険、保険代理店を含む。詳細なデータは参考資料に掲載。

\* 楽天ペイメント = 楽天ペイ、楽天Edy、ポイントパートナー等

\* 楽天銀行：Q2/20に台湾における現地合併会社（楽天国際商業銀行股份有限公司）を連結子会社化。上記PLには含まない。

# Q4/21 フィンテックセグメント業績サマリー

(単位：十億円)

	売上収益	前年同期比	営業利益	前年同期比
楽天カード	76.1	+10.6%	8.1	+13.3%
楽天銀行	25.6	+3.9%	7.6	+5.2%
楽天証券	23.6	+16.8%	4.4	+7.4%
保険事業	25.0	-3.9%	3.0	+2.4%
楽天ペイメント	11.5	+25.0%	-1.5	+1.0
その他	1.6	+5.6%	-0.8	+0.2
フィンテック 合計	163.5	+8.6%	20.9	+16.7%

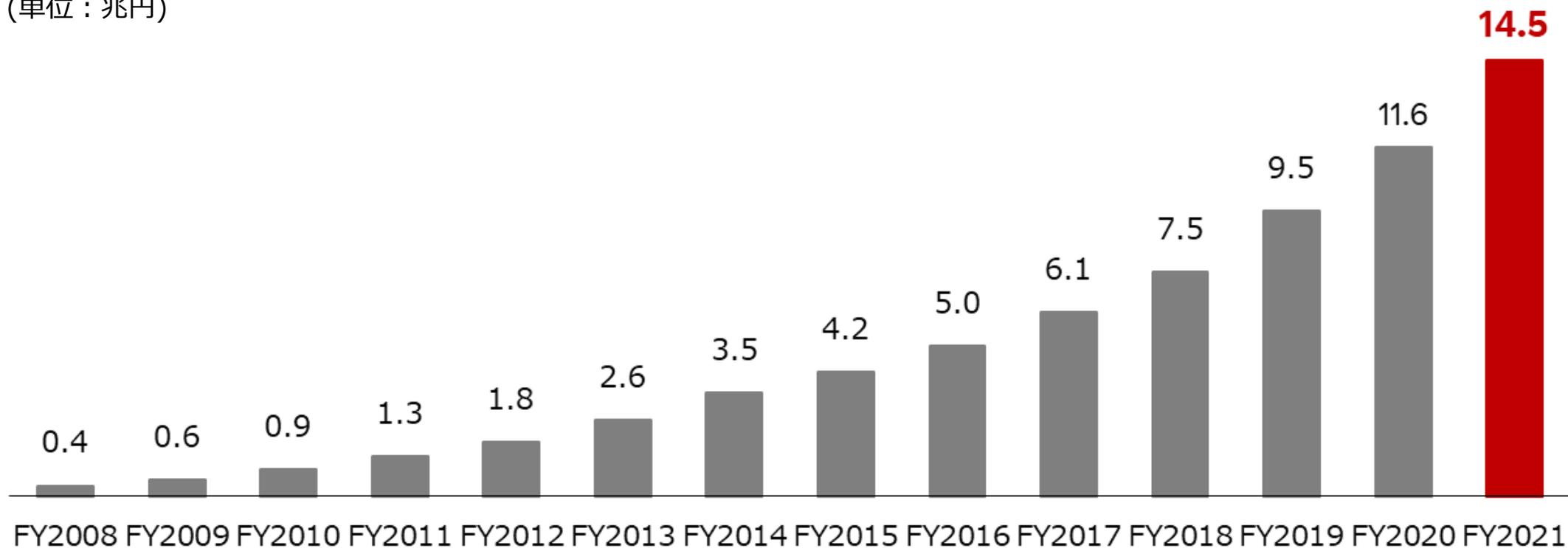
\* 保険事業は生命保険、損害保険、ペット保険、保険代理店を含む。詳細なデータは参考資料に掲載。

\* 楽天ペイメント = 楽天ペイ、楽天Edy、ポイントパートナー等

\* 楽天銀行：Q2/20に台湾における現地合併会社（楽天国際商業銀行股份有限公司）を連結子会社化。上記PLには含まない。

# 楽天カード ショッピング取扱高\*

(単位：兆円)

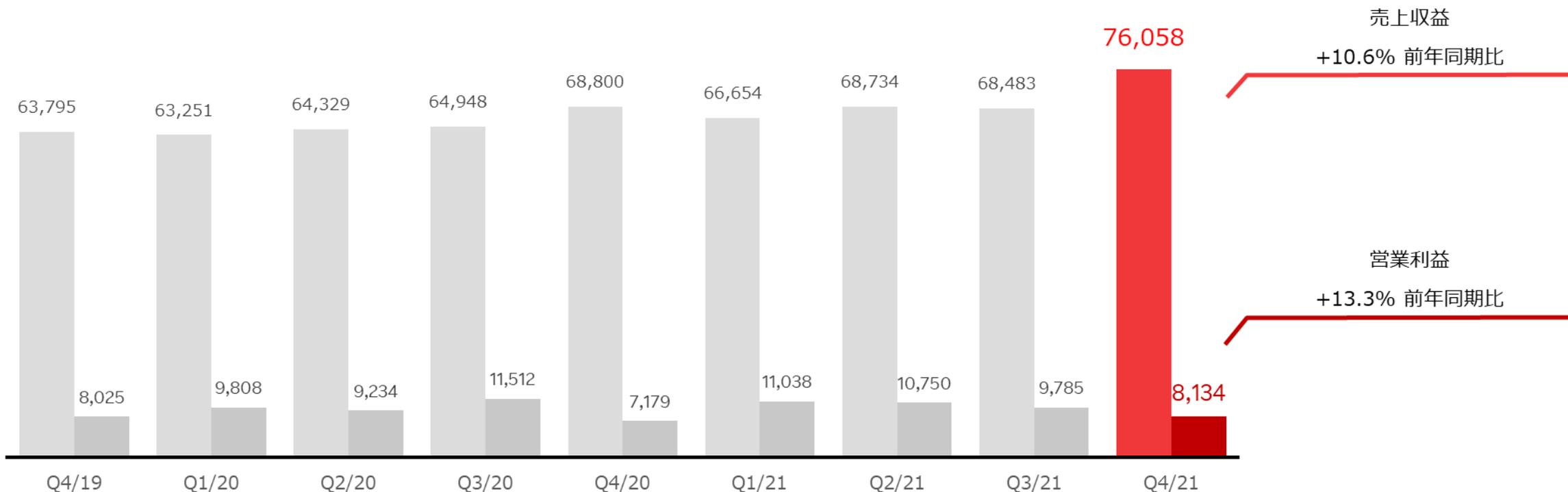


\*管理会計ベース。参考資料とは異なる定義。その他のクレジットカードの数値は参考資料に掲載。

# 楽天カード 四半期業績推移

楽天カードは好調な会員獲得に加え、オフライン消費の回復によりショッピング取扱高が伸長し、加盟店手数料収益が業績を牽引。

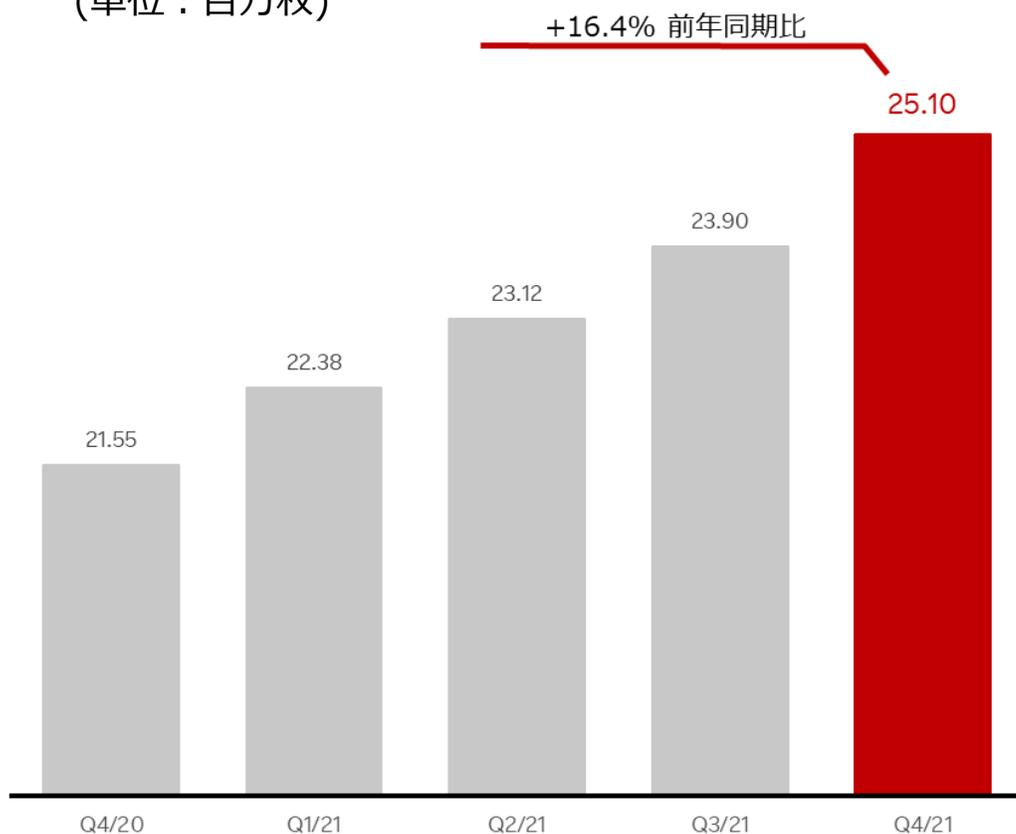
(単位：百万円)



# 楽天カード 経営指標\* (1)

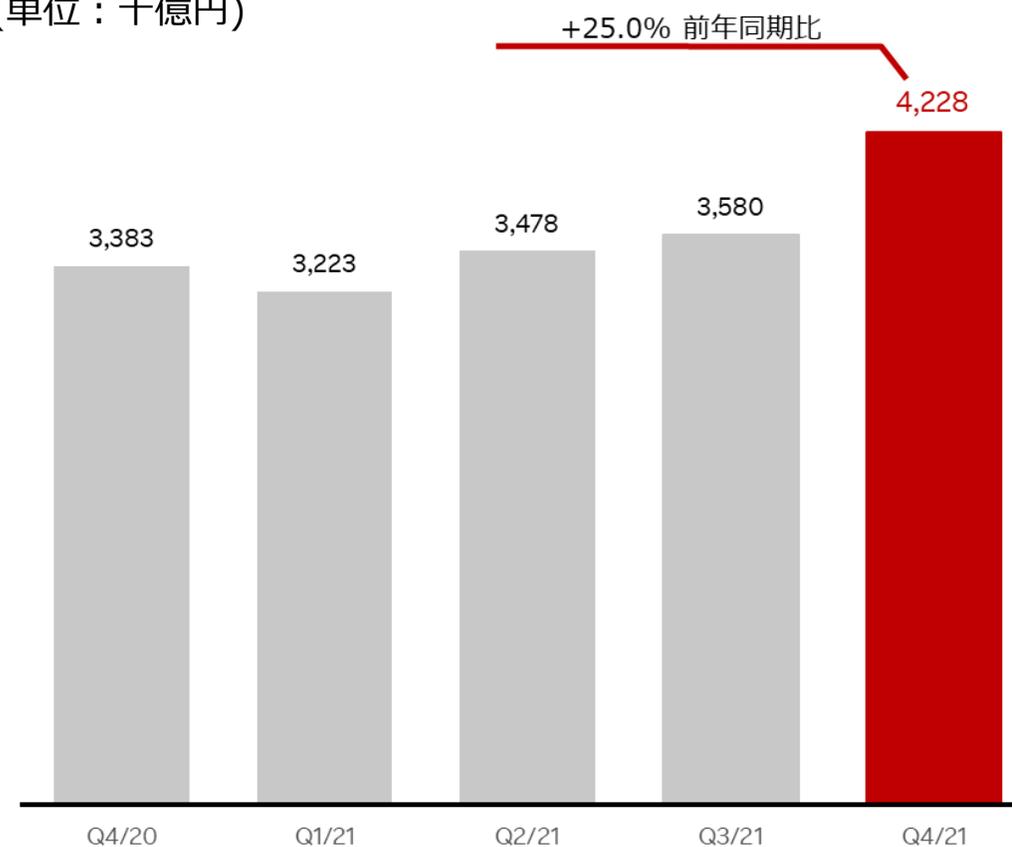
## カード発行枚数\*1

(単位：百万枚)



## ショッピング取扱高\*2

(単位：十億円)



\*1 2021年6月より本格開始した2枚目発行を含む。

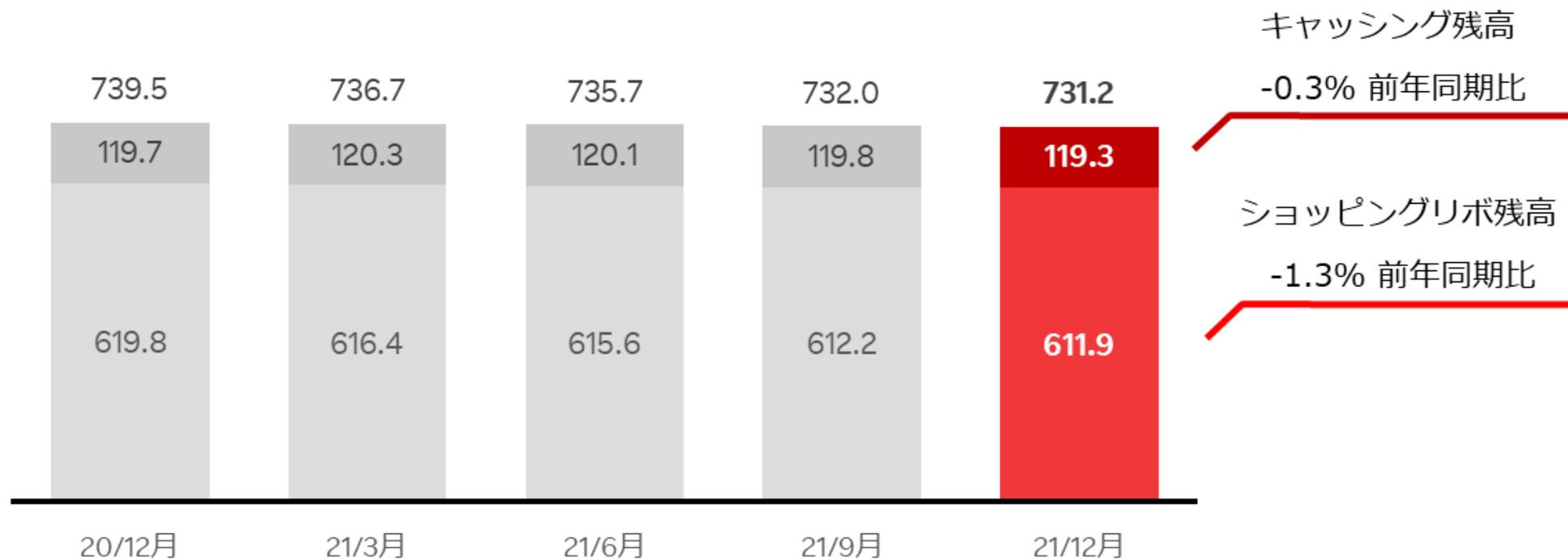
\*2 管理会計ベース。参考資料とは異なる定義。

\* その他のクレジットカードの数値は参考資料に掲載。

# 楽天カード 経営指標\* (2)

## ショッピングリボ残高及びキャッシング残高

(単位：十億円)



\*管理会計ベース。参考資料とは異なる定義。その他のクレジットカードの数値は参考資料に掲載。リボ残高は元本ベース

# 楽天カード 貸倒関連比率

(単位：百万円)

	Q4/20	Q1/21	Q2/21	Q3/21	Q4/21	前年同期比
貸倒関連費用	11,789	8,383	9,046	9,110	12,135	+2.9%
貸倒関連費用比率 <sup>*1</sup>	2.03%	1.40%	1.53%	1.52%	1.88%	-

	Q4/20	Q1/21	Q2/21	Q3/21	Q4/21	前年同期比
<b>楽天カード</b>	<b>2,097,002</b>	<b>2,010,882</b>	<b>2,052,112</b>	<b>2,093,338</b>	<b>2,449,854</b>	<b>+16.8%</b>
ステージ1 (正常)	2,008,991	1,919,540	1,957,075	1,994,727	2,349,481	+16.9%
ステージ2 (未収1～2ヶ月)	12,414	13,554	13,333	14,102	14,512	+16.9%
ステージ3 (未収3ヶ月以上/貸出条件緩和債権)	75,597	77,788	81,703	84,509	85,860	+13.6%
<b>楽天銀行保証</b>	<b>347,727</b>	<b>337,924</b>	<b>325,777</b>	<b>315,559</b>	<b>304,827</b>	<b>-12.3%</b>
ステージ1 (正常/信用保証債務残高 <sup>*2</sup> )	312,551	303,559	291,724	281,938	272,555	-12.8%
ステージ2 (遅延30日以上/信用保証債務残高 <sup>*2</sup> )	114	49	76	100	57	-50.0%
ステージ3 (求償債権)	35,062	34,315	33,977	33,522	32,215	-8.1%
<b>その他</b>	<b>902</b>	<b>866</b>	<b>825</b>	<b>803</b>	<b>743</b>	<b>-17.7%</b>
<b>債権残高・保証残高 合計</b>	<b>2,445,632</b>	<b>2,349,672</b>	<b>2,378,714</b>	<b>2,409,699</b>	<b>2,755,423</b>	<b>+12.7%</b>
引当金残高 <sup>*3</sup>	94,890	94,047	94,470	95,185	95,560	+0.7%
貸倒償却額 <sup>*4</sup>	13,801	9,229	8,625	8,399	11,761	-14.8%

\*1 貸倒関連費用比率 = 貸倒関連費用 ÷ 債権残高・保証残高合計の期首期末平均 × 4

\*2 楽天銀行における楽天銀行スーパーローン残高のうち、楽天カードが信用保証する残高

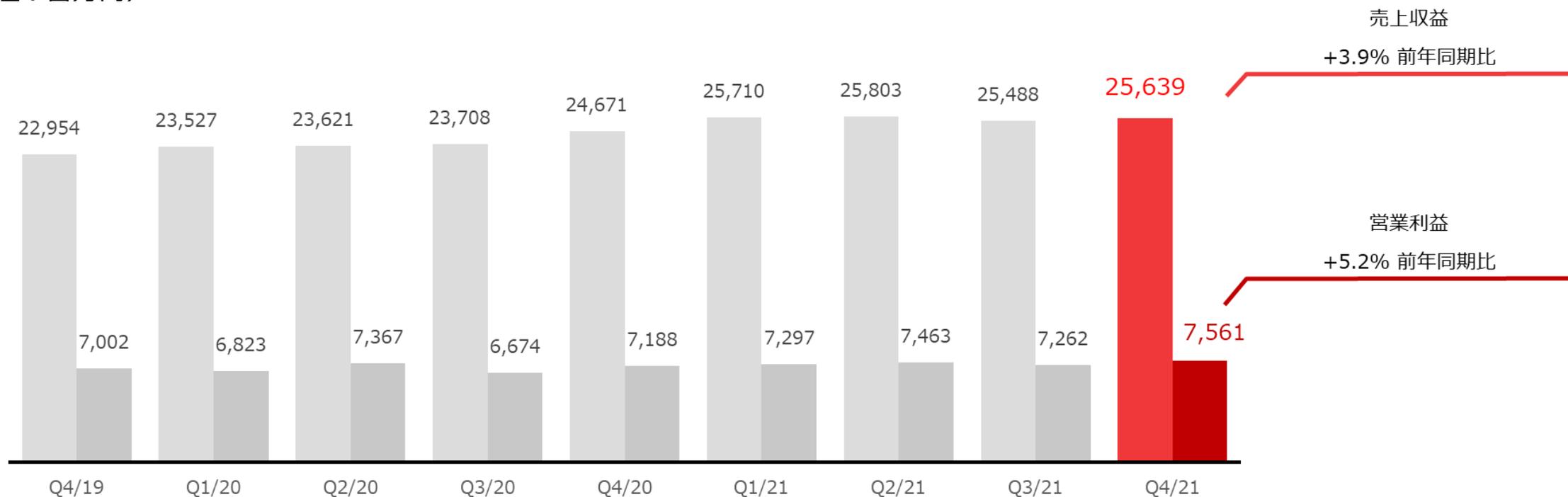
\*3 債務保証損失引当額を含む

\*4 貸倒償却には債権譲渡損を含む

# 楽天銀行 四半期業績推移\*

マイナス金利政策、新型コロナウイルスの影響等で引き続き銀行の経営環境が厳しい中、  
決済を中心に役務収益を大きく伸ばし、増収増益を確保

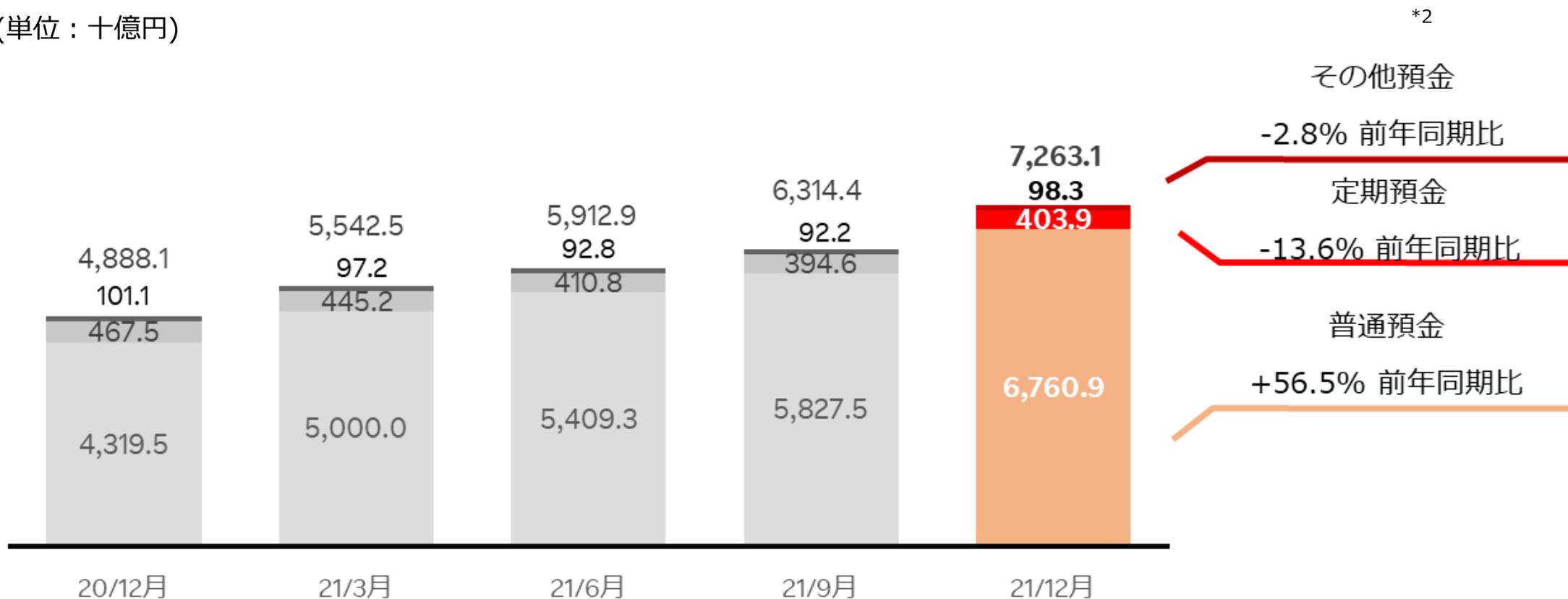
(単位：百万円)



\* Q2/20に台湾における現地合弁会社（楽天国際商業銀行股份有限公司）を連結子会社化。上記PLには含まない。

# 楽天銀行 預金残高推移\*1

(単位：十億円)

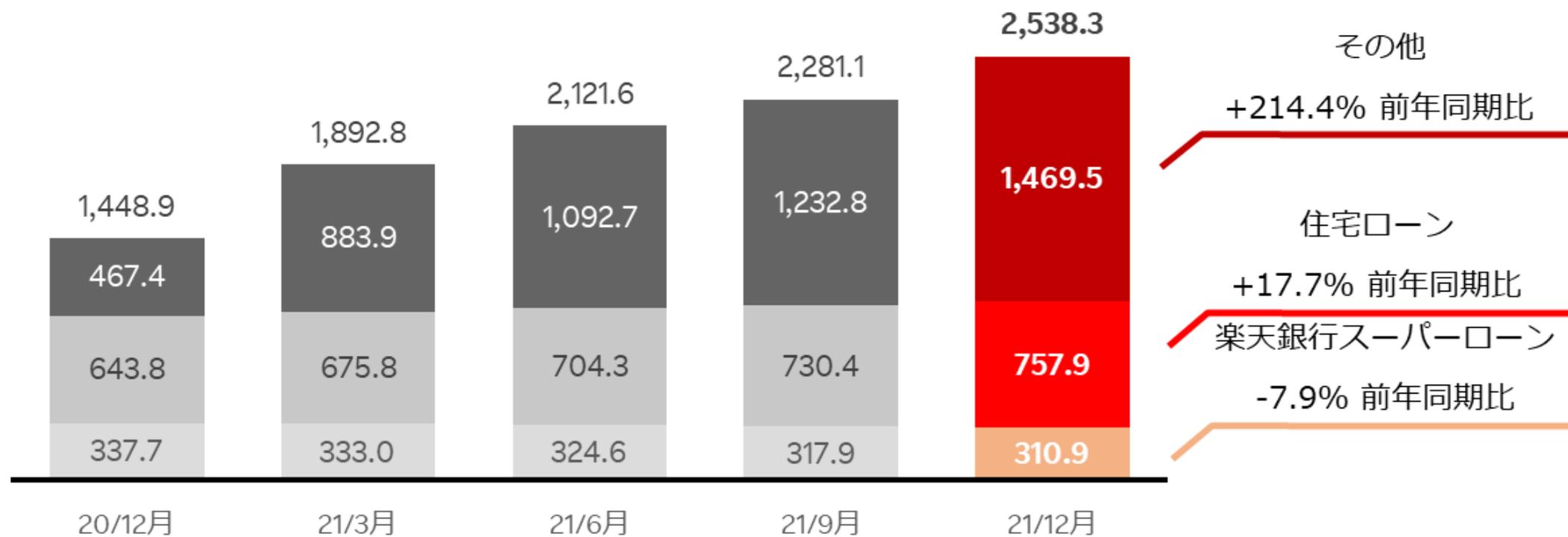


\*1 預金残高はIFRSベース（定期預金は、特約定期預金のデリバティブを含む）。楽天銀行連結ベース

\*2 その他預金には別段預金その他、外貨預金等を含む

# 楽天銀行 貸出金残高推移

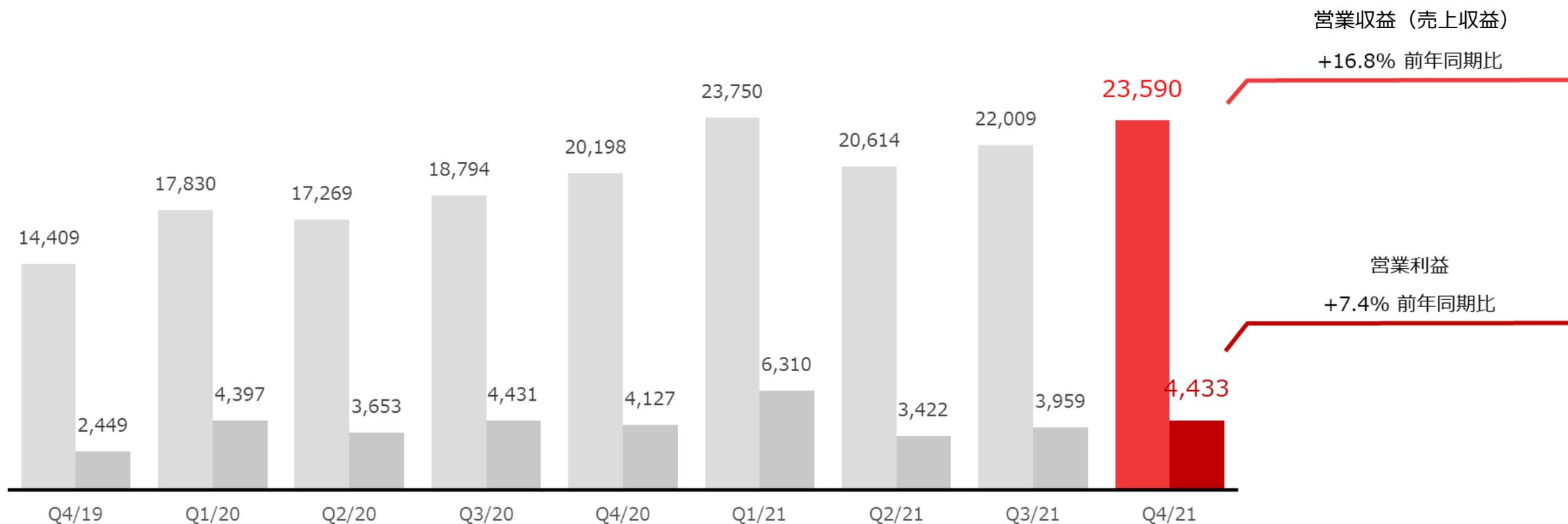
(単位：十億円)



# 楽天証券 四半期業績推移

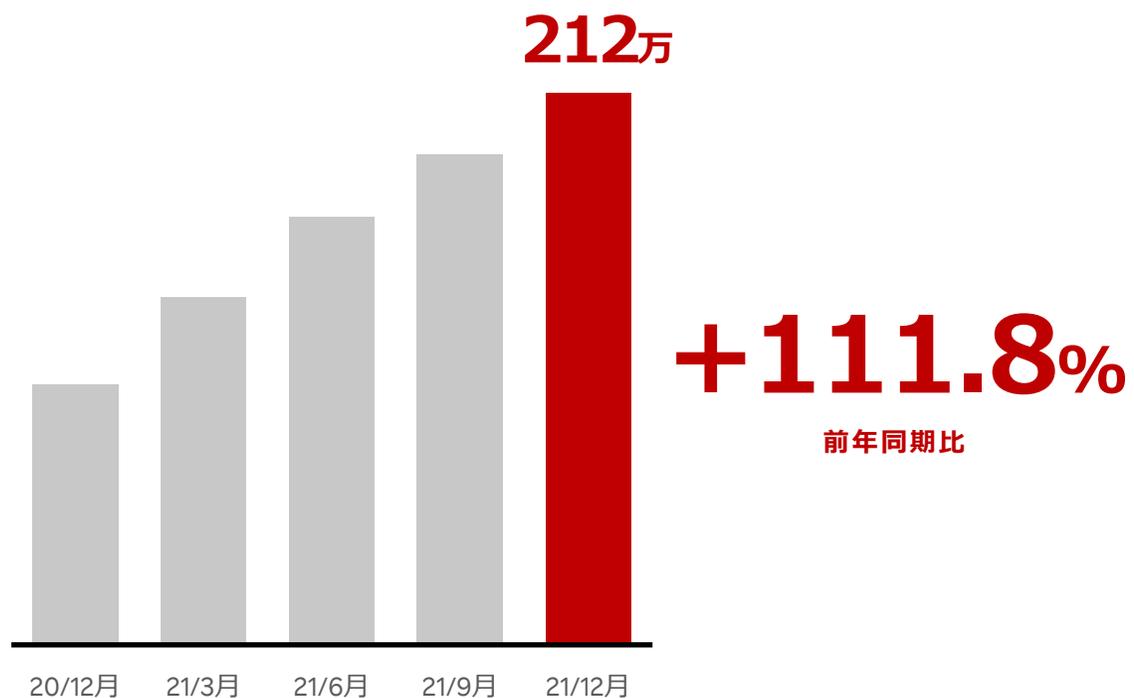
国内株式・米国株式が牽引し、営業収益（売上収益）は前年同期比二桁成長、会員基盤も急速に拡大

(単位：百万円)

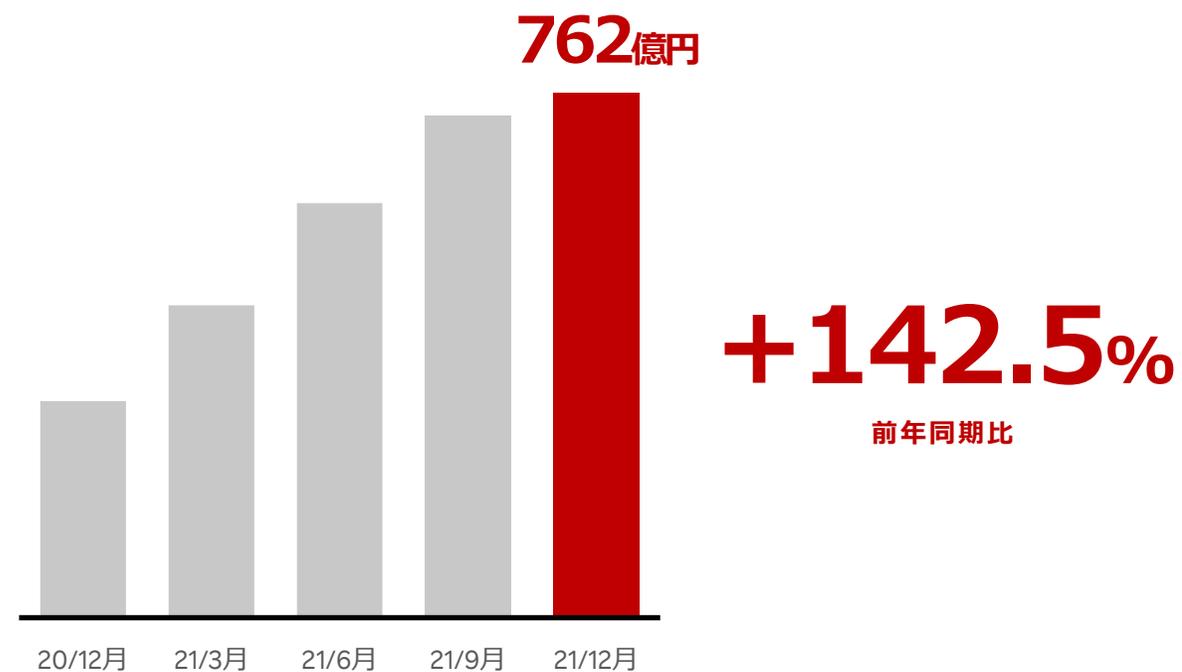


# 楽天証券 投信積み立て設定口座数および設定金額の推移

投信積み立て設定口座数



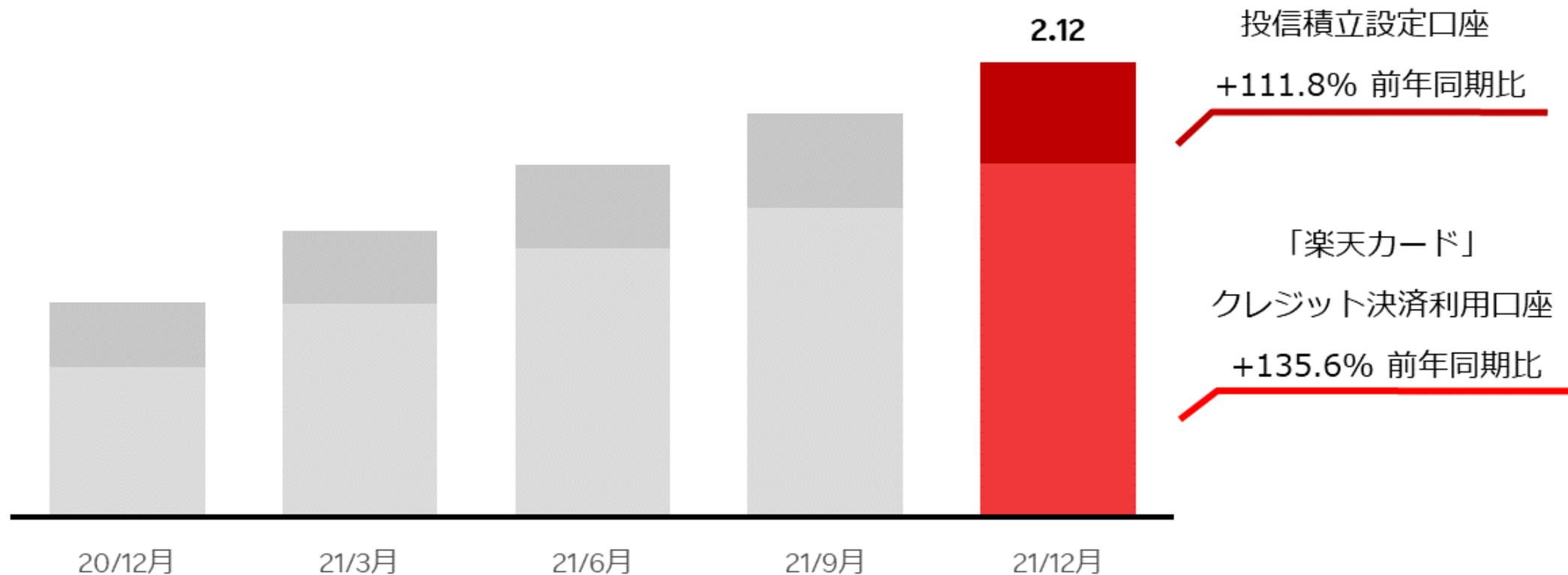
投信積み立て設定金額



# 楽天証券 投信積立口座数の増加

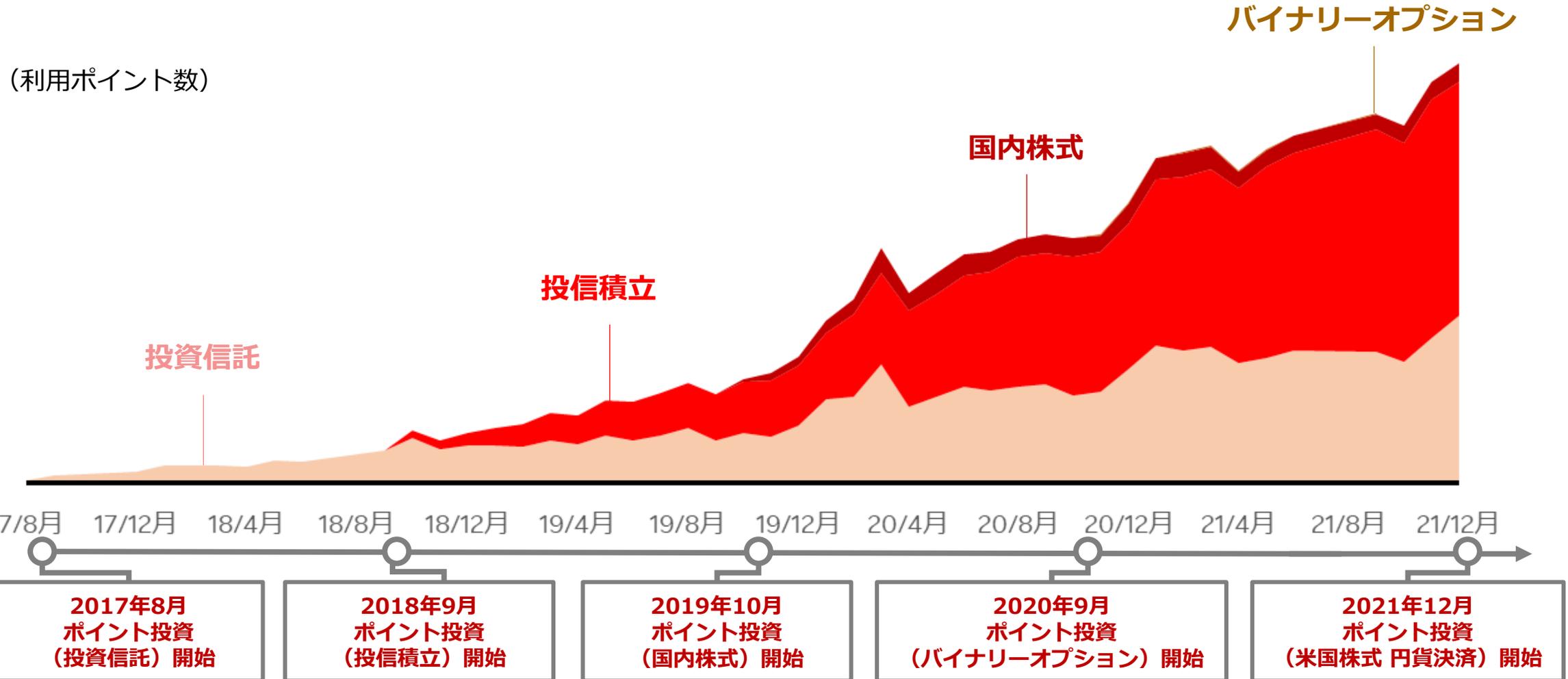
つみたてNISAや、投信積立の「楽天カード」クレジット決済、ポイント投資等の施策により、投信積立設定口座数および「楽天カード」クレジット決済利用口座が増加

(単位：百万口座)



# 楽天証券 ポイント投資

ポイント投資での利用ポイント数は堅調に増加



# 楽天証券【業界初】米国株式も「ポイント投資」可能に

2021年12月より、米国株式をあらかじめ設定した条件で自動的に注文できる米株積立がスタート  
楽天ポイントを使って、米国株式取引（円貨決済）も可能に（米株積立にも利用可）

## 楽天経済圏



### 📍ポイント投資



#### 通常購入

国内株式

投資信託

バイナリーオプション

米国株式



#### 積立購入

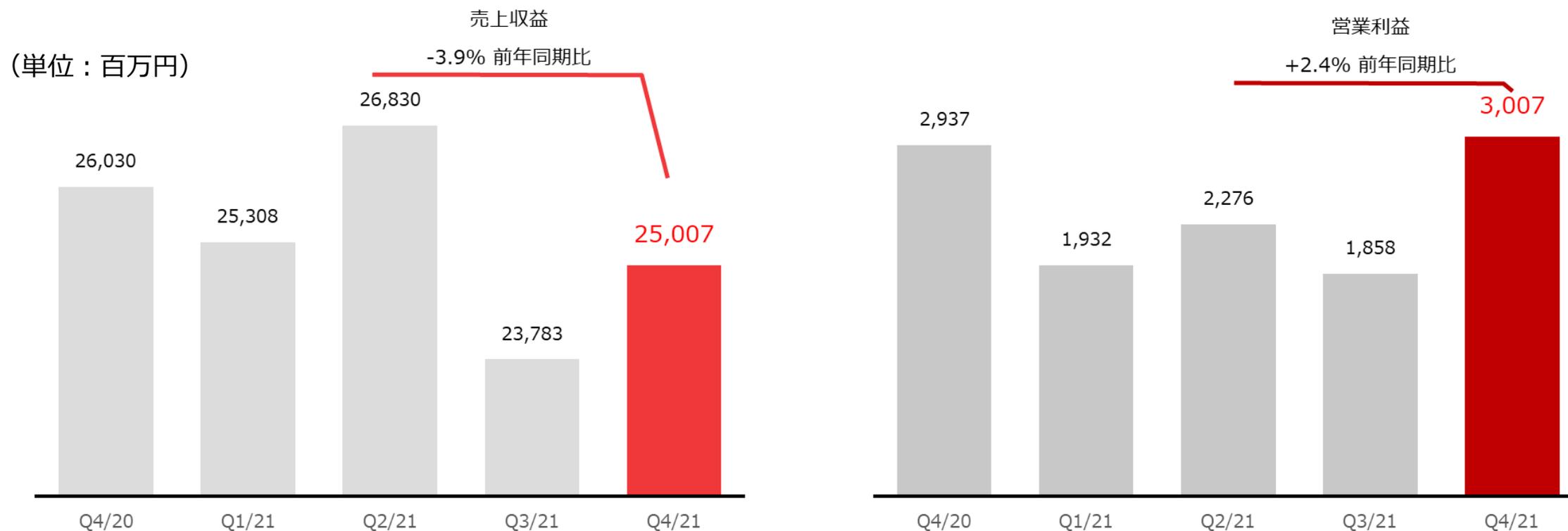
投資信託

米国株式



# 保険事業 業績推移

売上収益は、損害保険での引受基準適正化による売上減、及び大規模自然災害が発生しなかったことによる再保険収入減で減収。営業利益は保険引受利益改善やコスト削減により増益を達成



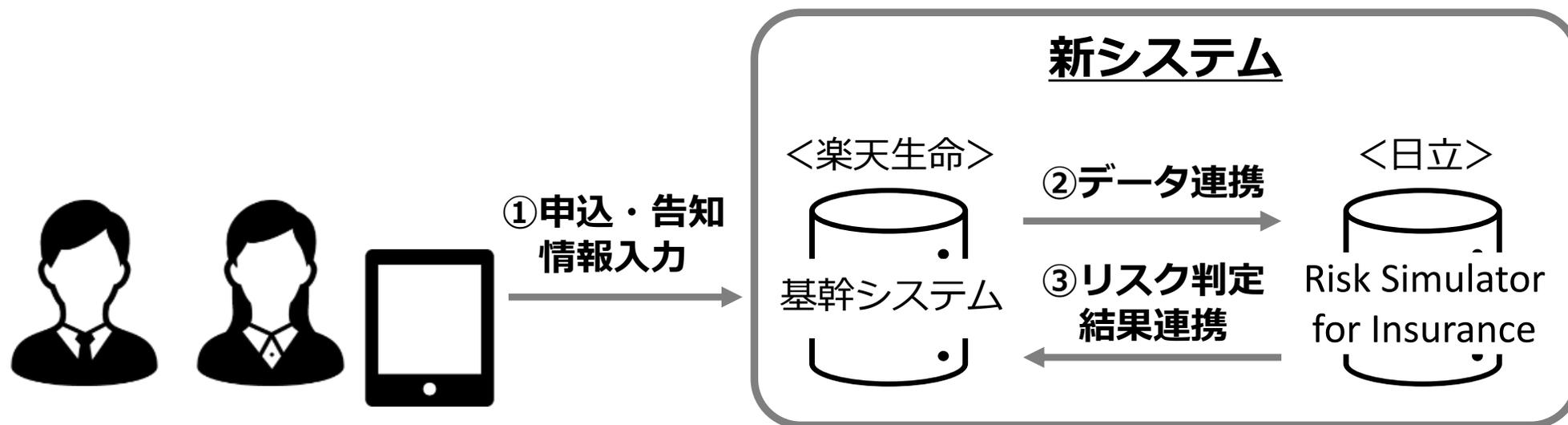
\* 保険事業は生命保険、損害保険、ペット保険、保険代理店を含む。詳細なデータは参考資料に掲載。

# 保険事業 AIを活用した保険引受査定の自動化

保険加入希望者様の健康状態から将来の入院リスクをAIが予測、引受査定を自動化

申込手続きのスピードアップによるお客さま満足度の向上や業務効率化を図り、事業規模の拡大に対応

## Rakuten 楽天生命



# 楽天ペイメント 楽天の金融アセットとの連携強化

利用シーンを拡大してきた楽天ペイアプリに、楽天カードのキャッシング機能を追加予定（近日中）ユーザー利便性のさらなる向上を図るとともに、楽天グループの金融サービスへの入口を担っていく



\*2022年2月に機能搭載後の画面イメージ。

## 金融との 連携強化

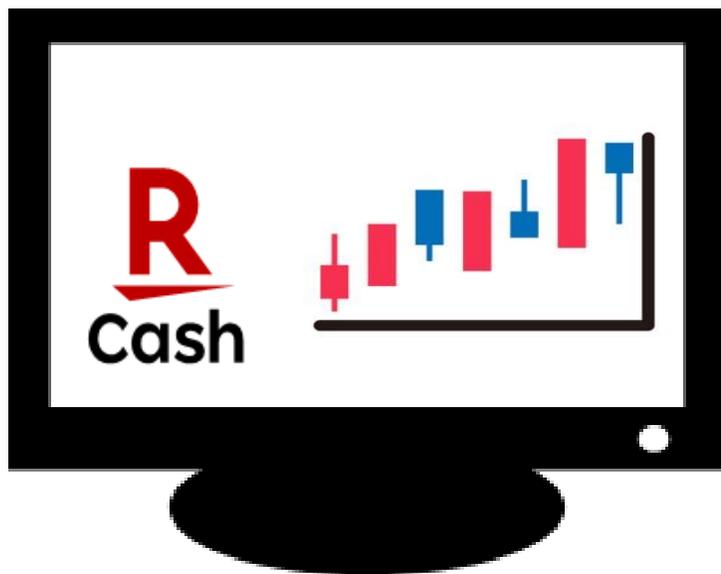
**Rakuten  
Card**

**Rakuten  
楽天銀行**

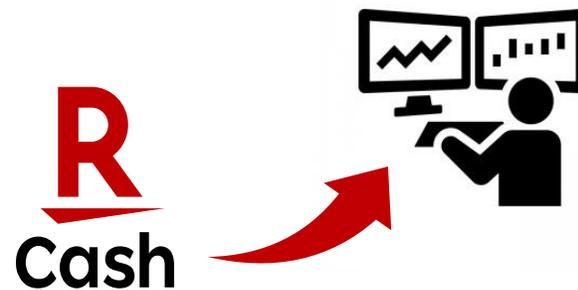
# 楽天証券×楽天ペイメント 【業界初】 電子マネーによる有価証券購入の実現へ

楽天証券の投信積立に、「楽天キャッシュ」での決済方法を追加予定。電子マネーが有価証券の購入に利用できるのは、国内証券業界で初めて\*

## 楽天キャッシュで投信積立



電子マネーでの  
有価証券購入は  
国内主要証券初！



\*国内主要証券は、主要ネット証券（口座数上位5社：auカブコム証券、SBI証券、松井証券、マネックス証券、楽天証券（五十音順））、  
主要対面証券（口座数上位5社：SMBC日興証券、大和証券、野村證券、みずほ証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券（五十音順））と比較（2022年2月現在、楽天証券調べ）

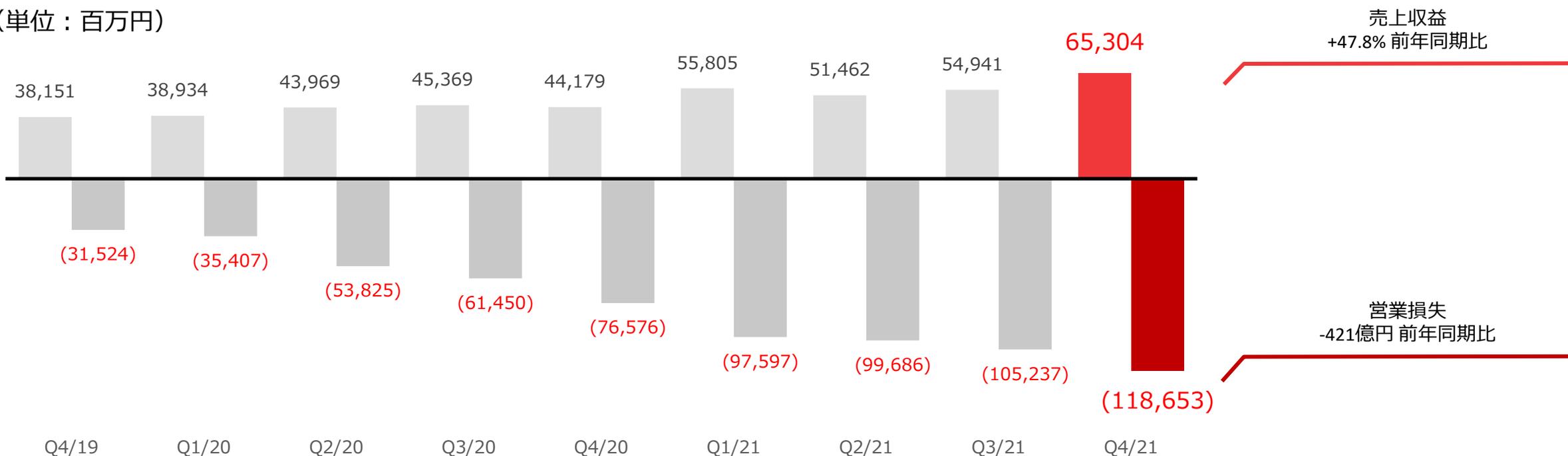
# モバイルセグメント

# モバイルセグメント\* 四半期業績推移

課金対象のMNOユーザーの増加、デバイス売上の増加、楽天シンフォニーの売上計上が寄与し、前四半期比で増収。

楽天回線エリアの積極的な拡大に伴い、減価償却費やネットワーク関連費用が増加。

(単位：百万円)



\* モバイルセグメントは楽天コミュニケーションズ、MNO事業、MVNE/O事業、エナジー事業、コンテンツ事業等により構成されます。

\* Q2/21よりRakuten Kobo、Rakuten Viki、Rakuten Viber等の事業はインターネットサービスセグメントへ移動。

# モバイル 貸借対照表

(単位：百万円)

IFRS貸借対照表, Balance Sheet (IFRS)	Q1/20	Q2/20	Q3/20	Q4/20	Q1/21	Q2/21	Q3/21	Q4/21
資産, Assets								
有形固定資産, Fixed assets	229,251	268,954	339,757	415,270	485,176	569,409	660,352	763,602
無形資産, Intangible assets	36,669	44,096	52,781	58,024	60,305	110,118	124,744	138,508
その他の資産, Other assets	118,401	155,852	184,374	187,648	179,718	225,300	271,182	498,430
資産合計, Total Assets	384,321	468,902	576,911	660,942	725,198	904,827	1,056,278	1,400,540

負債及び資本, Liabilities and net assets								
借入金, Borrowings *	19,018	99,330	209,952	228,333	328,430	387,563	487,688	681,056
<small>* 主にリースファイナンス及び親会社からの借り入れによる負債が計上されています * Borrowings are liabilities from lease financing and Loans from Rakuten Group, Inc.</small>								
リース債務, Lease liabilities *	70,780	79,875	91,667	111,473	127,282	154,224	195,267	237,109
<small>* 主にIFRS16による賃借料等の将来に渡る見込債務が計上されています * Lease liabilities are capitalized costs under IFRS16 such as rent expenses</small>								
その他の負債, Other liabilities	82,615	110,104	131,199	140,479	165,432	198,179	220,371	373,000
負債合計, Total liabilities	172,413	289,309	432,817	480,285	621,144	739,966	903,326	1,291,165
資本合計, Total net assets	211,908	179,594	144,094	180,657	104,054	164,861	152,952	109,375
負債及び資本合計, Total liabilities and net assets	384,321	468,902	576,911	660,942	725,198	904,827	1,056,278	1,400,540

電波発射済基地局数：33,905 契約締結済基地局数：17,968 (2021年12月末時点)

# 楽天モバイル 実店舗ネットワーク

2022年2月時点 店舗数：943（うち「楽天モバイル 郵便局店」が182）

## 九州・沖縄エリア

福岡県：40店舗  
佐賀県：6店舗  
長崎県：7店舗  
熊本県：12店舗  
大分県：3店舗  
宮崎県：4店舗  
鹿児島県：6店舗  
沖縄県：16店舗

合計：94店舗

## 四国エリア

徳島県：4店舗  
香川県：3店舗  
愛媛県：8店舗  
高知県：1店舗

合計：16店舗

## 中国エリア

鳥取県：3店舗  
島根県：4店舗  
岡山県：11店舗  
広島県：27店舗  
山口県：10店舗

合計：55店舗

## 北陸/甲信越エリア

新潟県：12店舗  
富山県：7店舗  
石川県：8店舗  
福井県：5店舗  
山梨県：3店舗  
長野県：13店舗

合計：48店舗

## 北海道/東北エリア

北海道：28店舗  
青森県：7店舗  
岩手県：6店舗  
宮城県：18店舗  
秋田県：5店舗  
山形県：4店舗  
福島県：10店舗

合計：78店舗

## 関東エリア

茨城県：15店舗  
栃木県：8店舗  
群馬県：9店舗  
埼玉県：61店舗  
千葉県：49店舗  
東京都：157店舗  
神奈川県：72店舗

合計：371店舗

## 東海エリア

岐阜県：10店舗  
静岡県：15店舗  
愛知県：59店舗  
三重県：11店舗

合計：95店舗

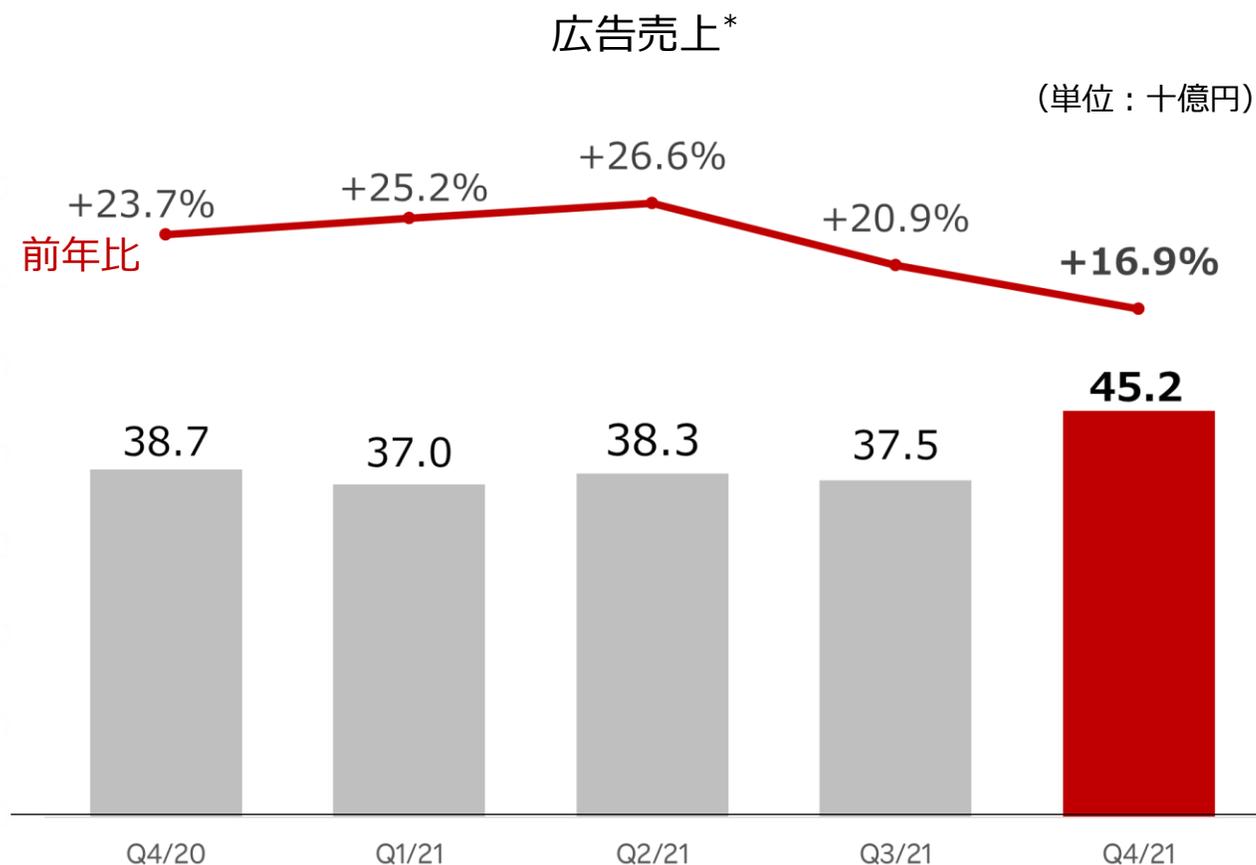
## 関西エリア

滋賀県：9店舗  
京都府：24店舗  
大阪府：88店舗  
兵庫県：51店舗  
奈良県：10店舗  
和歌山県：4店舗

合計：186店舗

# 広告事業

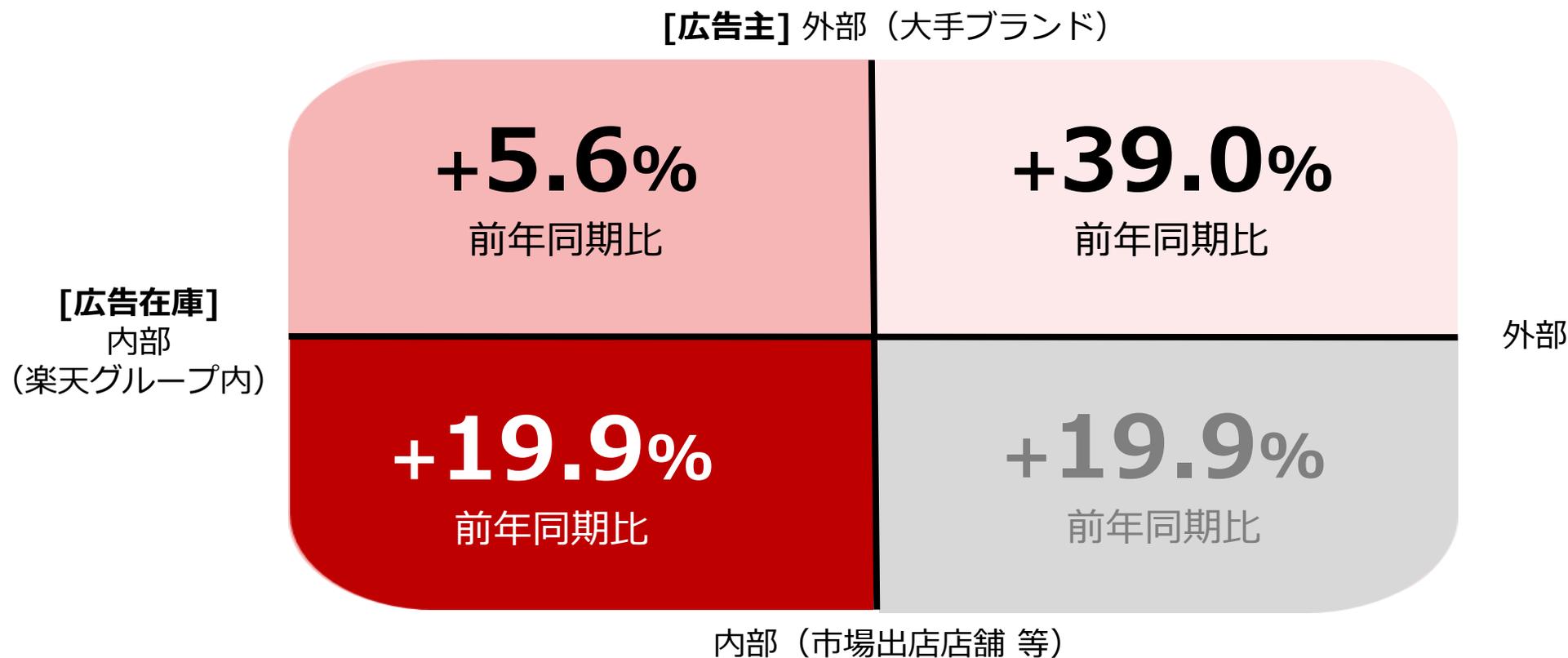
# 広告事業 売上収益



\* 内部取引含む取扱高

# 広告事業 Q4/21 成長率分析

EC事業の好調を受け楽天市場など、楽天グループ内における広告売上高が順調に拡大



**Rakuten**

The Rakuten logo consists of the word "Rakuten" in a bold, red, sans-serif font. A red horizontal line is positioned below the letters "a", "k", and "u", starting from the left edge of the "a" and extending to the right edge of the "u".

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。文中に記載の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。